



2019 年度事業報告書 決算書

1 月通常総会資料

事業年度 自 2019 年 1 月 1 日
至 2019 年 12 月 31 日

1966年、地域を想い、地域の未来を拓く青年経済人が集い、長井青年会議所は発足しました。この想いは脈々と受け継がれ、創立50周年を迎えます。私たちは、創始の想いを礎に、移りゆく時代の中で若さあふれる発想を持って地域発展のための運動を展開してまいりました。明るい豊かな社会の実現のため、この想いはこれからも変わることはありません。

次なる50年の第一歩を踏み出すため、ここに、2015年から2019年までの運動指針を策定いたします。

〈2015 - 2019年度〉
公益社団法人 長井青年会議所 運動指針

幸せを実感できるまちづくり

【未来への責任】

これまでの50年、先人たちのたゆまぬ努力により大きな経済成長を遂げ、私たちの暮らしは豊かになりました。今を生きる私たちは、豊かな50年後を築くために、今できることを常に考え、責任ある行動をしていきます。

【幸せの姿】

家族や地域の姿が年々多様化する中、求められる幸せの姿は多様になっています。未来を担う子どもたちもさまざまな想いをもって育ち、教育の場では、その想いを尊重することが必要となります。これからの社会では、一人ひとりの想いから生まれた夢を叶えられるという、心の豊かさが幸せの姿となっていきます。

【心の豊かさ】

夢を叶えるには一人ひとりの成長が必要です。人は人で磨かれるというように、より多くの人と出会い、その人々の想いに触れることで心が豊かになり、成長することができます。また、人の想いを尊重し共感する心は、現実との触れ合いによって身につくものです。多様な想いが行き交う中、実体験を通じて心を豊かにしていくことが求められます。

【幸せの実感】

地方に住む私たちが豊かさを実感するためには、このまちの魅力を再認識していくことが必要です。長井西置賜ならではの特色ある地域資源を明確に再認識して、その魅力を発信し、住みたいと思われる魅力あるまちとなることで、ここに住み暮らす私たちが誇りを持ち、幸せを実感することができます。

【私たちの運動】

私たちは、心豊かで魅力あるまちを創造し、このまちに関わるすべての人々が幸せを実感できることをめざしていきます。そのために、私たちは地域社会を牽引する存在であり続けなければなりません。私たちだからこそできる運動を率先して展開し、幸せを実感できるまちを実現していきます。

2019年度スローガン

公益社団法人 長井青年会議所 2019年度 スローガン

Happy One ～ひとつの幸せを求めて～

公益社団法人 日本青年会議所 2019年度 スローガン

共に心躍る未来へ

「やりましょう！」

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会
2019年度 スローガン

東北の心躍る未来へ胆識をもって

挑戦し続けよう

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
2019年度 スローガン

責任と覚悟を持って挑戦しよう

夢と笑顔溢れる「やまがた」の実現に向けて



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第54代理事長 小関 幸一

今年度、理事長を仰せつかり活動させて頂きましたこと誠にありがとうございます。

常任理事メンバー、井上監事、まちづくり委員会メンバー、ひとづくり委員会メンバー、人財育成委員会メンバー、会員拡大特別会議体メンバー、事務局のメンバー皆さん、貴重な経験、学び、気づきを得て、共に汗を流すことが出来ました。私自身、あっという間に時間が流れた、そんな感覚の一年間でした。一度は経験してみたかった理事長職ということもあり、自分に務まるのかどうかと不安と緊張が続きましたが、昨年の予定者として承認頂きました8月総会から数えると1年5カ月に渡り、予定者常任理事会・理事役員会議を重ね、理事役員メンバー・次年度現役メンバーが一丸となり、委員会開催や準備を行いました。

メイン事業として、まちづくり委員会では「地域活性化事業 わたしたちのまちの音、まちの色」を8月と11月の2回に渡り事業を行わせて頂きました。いつもと違う視点で地域の魅力を発見する力を高め、地域への愛着を深め、更に地域の方にも、様々な立場で関わっていただくことで、新たな出会いと交流の機会となりました。また、ひとづくり委員会はテレビでも人気の「トレジャーハント逃走中」を企画し、100名を超える申込の中から、長井・西置賜の全ての地域より小学生に参加を頂きました。初めて出会った子どもたちがミッションをクリアするために協力し合い、相手の思いやる心の育成とコミュニケーション力を高めることを目的として開催させて頂きました。更に、人財育成委員会では、「西野亮廣氏講演会」を開催させて頂き、地域に活力を与えられる人財の育成を目的に200名満員にて県内外や、地域の学生や大人の方にも沢山の参加を頂きました。元々は、私たち自身が地域に良い影響をあたえられる人財になることを目指して委員会設立をさせて頂きましたので、今回の講演会でメンバーは今までの常識にとらわれない新たな考え方を学ぶことが出来たと思います。

会員拡大特別会議では、会員の拡大に向けて一年間活動して参りました。今年度の卒業生は5名となり、目標は10名としておりましたが、結果は1名の拡大で、純増する結果には至りませんでした。会員数の減少によるLOMの弱体化、存続の危機に直面しているからこそ、会員の拡大は私たちに課せられた大きな課題です。引き続き、次年度以降も、一人ひとりがその重要性を理解したうえで行動すれば、より多くの方に青年会議所の魅力が伝わると考えます。私のリーダーシップ不足でメンバーの皆さんには情けなく思っております。

1年間覚悟をもって行動し、地域社会に広く貢献していくことを所信で表明させて頂きましたが、仕事・家庭・JCと両立することは簡単ではございませんでした。簡単ではなかったからこそ、メンバーはもちろん周りの方の沢山の理解と協力が必要となり、本当に支えて頂き貴重な機会をさせて頂きました。このご恩を仕事や家庭、地域社会に恩返ししていきたいと考えております。感謝しかございませんが、1年簡悔いなく活動させて頂き、幸せでした。滞りなく全ての事業を開催させて頂きましたこと改めて感謝申し上げます。

結びになりますが、今年度、長井青年会議所の理事長としてJC運動を、メンバー・関係諸団体のみならず地域の方に広く周知出来たことはすばらしい成果だったと思います。この経験を次年度の活動の糧とし、より一層の精進を重ね、本年、ご縁を頂きました皆さま方に感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 齋藤 憲幸

今年度、まちづくり委員会の担当副理事長の職をお預かりさせていただき、一年間活動してまいりました。委員会では「文化芸術」をテーマとした地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」、地域の愛着を深めるために最上川河川緑地公園周辺整備事業を行いました。特に地域活性化事業は今まで取り組んだことがない、音楽とアートの融合した事業となり、長井青年会議所としても挑戦の事業でありました。音楽を通してふるさとの魅力を感じる体験は、子ども達にとっても新たな視点での体験で、様々な発見があったと思います。色々な視点からふるさとの魅力を感じる体験をした子ども達は、ふるさとへの愛着を深め、今後様々な機会で魅力を語ってくれると思います。そうして長井西置賜に愛着を持った人々が増えて行く事でこの地域が活性化していく事を信じております。

最後に、まちづくり委員会の活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。そして、委員会メンバーの皆様お疲れ様でした。全ての皆様に感謝と申し上げ所感とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

所 感

副理事長 玉橋 恵子

今年度、ひとづくり委員会担当副理事長という役職を仰せつかり、1年間活動してまいりました。今年度のひとづくり委員会では、スポーツ体験を通した子ども達の健康増進とコミュニケーション力向上を目的とし、地域の未来を創生する子ども達の青少年育成事業に取り組みました。当初は夏季と秋季に2回の体験活動を行う予定でしたが、様々な事情により変更を余儀なくされ、当初の予定通りに事業を進められなかったことは副理事長として力不足を感じています。個人的に思うようにJC活動ができない状態にあり、その中で委員会運営や採択された基金運用もままならずと、四方八方に苦しい状況でした。しかし、横澤副委員長が委員長代理を務めようと尽力し、新入会員の四釜君が懸命に副委員長をサポートしてくれました。委員会事業を成功裡に終えられたのは2人の努力の成果であり、見守ってくださった樋口議長、委員会外でありながら手助けいただいた齋藤議長のお陰だと思います。ひとづくり委員会の事業にご協力くださった関係者、長井JCメンバーの皆様に感謝を申し上げ副理事長所感とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

所 感

会員拡大特別会議 議長 樋口 和哉

自分の卒業年度に会員拡大の議長職を拝命させていただき、期待と不安が入り混じった状態でスタートしたことを思い出します。当会議体の活動はその名のとおり、とにかく会員拡大に注力し、「共にこの地域を想い行動する青年を創出する。」ことを目的に掲げ始動しました。結果としては残念な結果となってしまいました。拡大担当の長として、まずはメンバーの拡大に対する意識改革を促す必要があったわけですが、拡大に対する姿勢を見せることが出来ず、会員一同足並みそろえた拡大活動に導いていくことが全くできませんでした。

反省点は山ほどあり非常に悔いの残る一年間だったと痛感しております。会員拡大は青年会議所という組織が存在している限り、継続して行かなければならない尊い運動ですので、あきらめずに行動していただき、まだ見ぬ青年をひとりでも多く迎え入れられるように、一丸となって取り組んでいただければと思います。小関理事長はじめメンバーの皆様、そして苦楽を共にした齋藤副議長に感謝申し上げ、私の所感とさせていただきます。ありがとうございました。

所 感

専務理事 船山 裕紀

2019年度専務理事として1年間、小関理事長の下、長井青年会議所の運営に携わらせていただき、かつ人財育成委員会担当の理事として、青年会議所のメンバーのみならず地域に学びや気づきの機会を提供し、地域に対して活力を与えられる人財の育成を行って参りました。まずはメンバーの皆様のお支えと地域に対しての情熱により、大きな問題もなく円滑に運営することが出来たことに感謝申し上げます。専務理事としては、対話を通し相互理解を深め信頼関係を更に高めていく部分に関して、不出来だったと言わざるを得ません。会全体を見渡した時に、意見交換や対話がスムーズに行われていない場面が幾つかありました。そういった時にこそ中立の立場で介入し解決に勤しむことが必要だったと考えます。また、会員拡大の担いを持つ一人としても、年初の目標を達成できず会員減少を招いてしまった事を大きく反省しなければなりません。反省点も多くありますが、この1年間経験させていただき得た貴重な気づきや学びを地域のために還元して参ります。最後に事務局・人財育成委員会に対しご協力いただきました皆様に心から感謝を申し上げ所感とさせていただきます。1年間誠に有難うございました。

【2019年度 常任理事会・理事役員会議 出席状況】

No	役職名	理事	第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		臨時理事会		決算理事会		
			常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任														
1	理事長	小関 幸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	直前理事長	梅津 壮一郎	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	監事	井上 典嗣	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	△	○	△	○
4	副理事長	齋藤 憲幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副理事長	玉橋 恵子	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
6	議長	樋口 和哉	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専務理事	船山 裕紀	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	△	×	○	○	○
8	まちづくり委員会 委員長	吉川 明紀	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	×	○	○	○
9	ひとづくり委員会 委員長	渋谷 祥平	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	○	○	×
10	副議長	齋藤 圭央	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	△	○	△	○	○
11	人材育成委員会 委員長	大泉 紀也	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○
12	事務局長	小林 和正	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○
13	事務局次長	小松 雄一	△	○	△	×	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	×	△	○	△	○	△	○	△	○

【理事役員会報告】

会議名	期日と場所	議題	出席者
第2回理事役員会議	2019年2月7日(木) J Cルーム	協議事項 1、3月例会 行動力向上セミナーについて(人財育成委員会) 2、西野亮廣氏講演会について(人財育成委員会) 3、会員拡大運動(会員拡大パンフレット)について(会員拡大特別会議) 4、4月例会 JC 試乗列車について 審議事項 1、3月例会 行動力向上セミナー(日時・場所・案内文)について(人財育成委員会) 2、会員拡大運動(会員拡大パンフレット)について(会員拡大特別会議)	13名
第3回理事役員会議	2019年3月7日(木) J Cルーム	協議事項 1、最上川河川緑地公園周辺整備事業(謝礼金請求書)について(まちづくり委員会) 2、3月例会 行動力向上セミナーについて(人財育成委員会) 3、4月例会異業種交流会(日時・場所・事業趣旨・チラシ・講演依頼書)について(会員拡大特別会議) 4、2019年長井青年会議所公式スケジュール変更について(事務局) 5、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』廃止における関係団体への通知について(事務局) 審議事項 1、最上川河川緑地公園周辺整備事業(謝礼金請求書)について(まちづくり委員会) 2、3月例会 行動力向上セミナー(事業全体)について(人財育成委員会) 3、4月例会異業種交流会(日時・場所・事業趣旨・チラシ)について(会員拡大特別会議) 4、2019年長井青年会議所公式スケジュール変更について(事務局) 5、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』廃止における関係団体への通知について(事務局)	11名
第4回理事役員会議	2019年4月8日(月) J Cルーム	協議事項 1、最上川河川緑地公園周辺整備事業について(まちづくり委員会) 2、青少年育成交流事業について(ひとづくり委員会) 3、4月例会異業種交流会(事業全体)について(会員拡大特別会議) 4、5月例会 SMILE by SPORTS 例会(事業概要・日時・場所・案内文)について(会員拡大特別会議) 5、四釜靖之君入会(仮入会)承認の件について(会員拡大特別会議) 6、新春賀詞交歓会補正事業予算書(案)について(事務局) 7、新春賀詞交歓会事業報告について(事務局) 審議事項 1、最上川河川敷緑地公園周辺整備事業 (日時、事業概要、市報掲載文、長井市への提出書類)について(まちづくり委員会) 2、4月例会異業種交流会(事業全体)について(会員拡大特別会議) 3、5月例会 SMILE by SPORTS 例会(事業概要・日時・場所・案内文)について(会員拡大特別会議) 4、四釜靖之君入会(仮入会)承認の件について(会員拡大特別会議) 5、新春賀詞交歓会補正事業予算書(案)について(事務局) 6、新春賀詞交歓会事業報告について(事務局)	12名

<p>第5回理事 役員会議</p>	<p>2019年5月9日(木) J Cルーム</p>	<p>協議事項 1、最上川河川緑地公園周辺整備事業について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業について(まちづくり委員会) 3、青少年育成交流事業について(ひとづくり委員会) 4、5月例会 SMILE by SPORTS 例会について(会員拡大特別会議)</p> <p>審議事項 1、最上川河川敷緑地公園周辺整備事業 (チラシ、チラシ配布依頼文、メンバー案内文)について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業(助成金申請書類)について(まちづくり委員会) 3、青少年育成交流事業(夏季) (開催場所・日時・普通財産貸付申込書・後援申請書)について(ひとづくり委員会) 4、5月例会 SMILE by SPORTS 例会(事業全体)について(会員拡大特別会議)</p>	<p>12名</p>
<p>第6回理事 役員会議</p>	<p>2019年6月6日(木) J Cルーム</p>	<p>協議事項 1、最上川河川緑地公園周辺整備事業について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会) 3、7月例会大人の逃走中について(ひとづくり委員会) 4、青少年育成交流事業について(ひとづくり委員会) 5、納涼パーティーについて(会員拡大特別会議)</p> <p>審議事項 1、最上川河川敷緑地公園周辺整備事業(事業全体)について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」(名義使用申請書および承諾書・地域活性化事業計画書対外配布用)について(まちづくり委員会) 3、7月例会大人の逃走中(使用承認申請書)について(ひとづくり委員会) 4、青少年育成交流事業(実施日時および会場変更)について(ひとづくり委員会)</p>	<p>11名</p>
<p>第7回理事 役員会議</p>	<p>2019年7月4日(木) J Cルーム</p>	<p>協議事項 1、8月例会地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会) 2、最上川河川緑地公園周辺整備事業修正予算書について 3、7月例会逃走中～子供たちのために今、私たちができること～について(ひとづくり委員会) 4、3月例会行動力向上セミナー変更事業計画及び補正事業予算書について(人財育成委員会) 5、3月例会行動力向上セミナー事業報告書について(人財育成委員会) 6、次年度理事長候補者所信(案)発表例会について(人財育成委員会) 7、納涼パーティーについて(会員拡大特別会議) 8、四釜靖之君入会(正会員)承認について(会員拡大特別会議) 9、8月通常総会について(事務局)</p> <p>審議事項 1、8月例会地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」 (チラシ・協賛依頼・ボランティア募集)について(まちづくり委員会) 2、最上川河川緑地公園周辺整備事業修正予算書について 3、7月例会逃走中～子供たちのために今、私たちができること～(事業全体)について (ひとづくり委員会) 4、3月例会行動力向上セミナー変更事業計画及び補正事業予算書について(人財育成委員会) 5、3月例会行動力向上セミナー事業報告書について(人財育成委員会) 6、次年度理事長候補者所信(案)発表例会(日時・場所)について(人財育成委員会)</p>	<p>12名</p>

		<p>7、納涼パーティー(日時、場所、案内文)について(会員拡大特別会議)</p> <p>8、四釜靖之君入会(正会員)承認について(会員拡大特別会議)</p> <p>9、8月通常総会(日時・場所・案内文)について(事務局)</p>	
第8回理事 役員会議	2019年8月1日(木) JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会)</p> <p>2、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、JC杯中学野球大会について(ひとづくり委員会)</p> <p>4、次年度理事長候補者所信発表例会について(人財育成委員会)</p> <p>5、西野亮廣講演会について(人財育成委員会)</p> <p>6、納涼パーティーについて(会員拡大特別会議)</p> <p>7、8月通常総会について(事務局)</p> <p>8、2020年度理事長候補者の選出について(事務局)</p> <p>9、2020年度理事候補者の選出について(事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」(事業全体)について (まちづくり委員会)</p> <p>2、JC杯中学野球大会(開催日時・開催場所・案内文・協賛依頼文)について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、納涼パーティー(事業全体)について(会員拡大特別会議)</p> <p>4、8月通常総会(事業全体)について(事務局)</p> <p>5、2020年度理事長候補者の選出について(事務局)</p> <p>6、2020年度理事候補者の選出について(事務局)</p>	12名
第9回理事 役員会議	2019年9月5日(木) JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会)</p> <p>2、JC杯中学野球大会について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」について(ひとづくり委員会)</p> <p>4、次年度理事長候補者所信発表例会について(人財育成委員会)</p> <p>5、西野亮廣講演会について(人財育成委員会)</p> <p>6、10月例会置賜4JC合同例会について(事務局)</p> <p>7、2019年度8月補正予算について(事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>1、JC杯中学野球大会(事業全体)について(ひとづくり委員会)</p> <p>2、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」(ポスター、チラシ、案内文)について (ひとづくり委員会)</p> <p>3、次年度理事長候補者所信発表例会(事業全体)について(人財育成委員会)</p> <p>4、西野亮廣講演会(日時・場所・ポスター)について(人財育成委員会)</p> <p>5、10月例会置賜4JC合同例会(事業全体)について(事務局)</p> <p>6、2019年度8月補正予算について(事務局)</p>	11名
第10回理事 役員会議	2019年10月3日(木) JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会)</p> <p>2、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、西野亮廣講演会について(人財育成委員会)</p> <p>4、12月例会卒業式について(事務局)</p>	11名

		<p>審議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」 (チラシ、案内文、対外配布資料)について(まちづくり委員会)</p> <p>2、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」(事業全体)について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、西野亮廣講演会(チラシ・ポスター・チケット)について(人財育成委員会)</p> <p>4、12月例会卒業式(日時・場所)について(事務局)</p>	
第11回理事 役員会議	2019年11月7日(木) JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」について(まちづくり委員会)</p> <p>2、西野亮廣講演会について(人財育成委員会)</p> <p>3、4月例会異業種交流会補正予算について(会員拡大特別会議)</p> <p>4、4月例会異業種交流会事業報告について(会員拡大特別会議)</p> <p>5、5月例会 Smile by Sports 例会補正予算について(会員拡大特別会議)</p> <p>6、5月例会 Smile by Sports 例会事業報告について(会員拡大特別会議)</p> <p>7、12月例会卒業式について(事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>1、地域活性化事業「わたしたちのまちの色、まちの音」(事業全体)について (まちづくり委員会)</p> <p>2、4月例会異業種交流会補正予算について(会員拡大特別会議)</p> <p>3、4月例会異業種交流会事業報告について(会員拡大特別会議)</p> <p>4、5月例会 Smile by Sports 例会補正予算について(会員拡大特別会議)</p> <p>5、5月例会 Smile by Sports 例会事業報告について(会員拡大特別会議)</p> <p>6、12月例会卒業式(事業全体)について(事務局)</p>	9名
第12回理事 役員会議	2019年12月10日(火) JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1、西野亮廣講演会について(人財育成委員会)</p> <p>2、7月例会逃走中補正予算について(ひとづくり委員会)</p> <p>3、7月例会逃走中事業報告について(ひとづくり委員会)</p> <p>4、第28回JC杯中学野球大会補正予算について(ひとづくり委員会)</p> <p>5、第28回JC杯中学野球大会事業報告について(ひとづくり委員会)</p> <p>6、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」補正予算について(ひとづくり委員会)</p> <p>7、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」事業報告について(ひとづくり委員会)</p> <p>8、納涼パーティー事業報告について(会員拡大特別会議)</p> <p>9、飯沢栄人君退会承認について(会員拡大特別会議)</p> <p>10、小松雄一君退会承認について(会員拡大特別会議)</p> <p>11、渋谷祥平君退会承認について(会員拡大特別会議)</p> <p>12、渡部清隆君退会承認について(会員拡大特別会議)</p> <p>13、2020年度基本資料について(事務局)</p> <p>14、2020年度事業計画について(事務局)</p> <p>15、2020年度新春賀詞交歓会について(事務局)</p> <p>16、2020年度ホームページ運営について(事務局)</p> <p>17、2020年度予算案について(事務局)</p> <p>18、2020年度公式スケジュールについて(事務局)</p> <p>19、2020年度スローガンについて(事務局)</p> <p>20、12月補正予算について(事務局)</p>	11名

		<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、西野亮廣講演会について（人財育成委員会） 2、7月例会逃走中補正予算について（ひとづくり委員会） 3、7月例会逃走中事業報告について（ひとづくり委員会） 4、第28回JC杯中学野球大会補正予算について（ひとづくり委員会） 5、第28回JC杯中学野球大会事業報告について（ひとづくり委員会） 6、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」補正予算について（ひとづくり委員会） 7、青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」事業報告について（ひとづくり委員会） 8、納涼パーティー事業報告について（会員拡大特別会議） 9、飯沢栄人君退会承認について（会員拡大特別会議） 10、小松雄一君退会承認について（会員拡大特別会議） 11、渋谷祥平君退会承認について（会員拡大特別会議） 12、渡部清隆君退会承認について（会員拡大特別会議） 13、2020年度新春賀詞交歓会について（事務局） 14、2020年度公式スケジュールについて（事務局） 15、2020年度スローガンについて（事務局） 16、12月補正予算について（事務局） 	
<p>決算理事 役員会議</p>	<p>2020年1月10日(金) JC ルーム</p>	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、最上川河川緑地公園整備事業補正予算について（まちづくり委員会） 2、最上川河川緑地公園整備事業 事業報告について（まちづくり委員会） 3、地域活性化事業「わたしたちのまちの音、まちの色」補正予算について（まちづくり委員会） 4、地域活性化事業「わたしたちのまちの音、まちの色」事業報告について（まちづくり委員会） 5、次年度所信発表例会補正予算について（人財育成委員会） 6、次年度所信発表例会事業報告について（人財育成委員会） 7、西野亮廣氏講演会補正予算について（人財育成委員会） 8、西野亮廣氏講演会事業報告について（人財育成委員会） 9、会員拡大運動補正予算について（会員拡大特別会議） 10、会員拡大運動事業報告について（会員拡大特別会議） 11、ホームページ運営事業報告について（事務局） 12、置賜4JC合同例会事業報告決算書について（事務局） 13、12月例会卒業式2019補正予算について（事務局） 14、12月例会卒業式2019事業報告について（事務局） 15、監事辞任について（事務局） 16、1月総会について（事務局） 17、2019年度決算（案）について（事務局） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、最上川河川緑地公園整備事業補正予算について（まちづくり委員会） 2、最上川河川緑地公園整備事業 事業報告について（まちづくり委員会） 3、地域活性化事業「わたしたちのまちの音、まちの色」補正予算について（まちづくり委員会） 4、地域活性化事業「わたしたちのまちの音、まちの色」事業報告について（まちづくり委員会） 5、次年度所信発表例会補正予算について（人財育成委員会） 6、次年度所信発表例会事業報告について（人財育成委員会） 7、西野亮廣氏講演会補正予算について（人財育成委員会） 	<p>12名</p>

- 8、西野亮廣氏講演会事業報告について（人財育成委員会）
- 9、会員拡大運動補正予算について（会員拡大特別会議）
- 10、会員拡大運動事業報告について（会員拡大特別会議）
- 11、ホームページ運営事業報告について（事務局）
- 12、置賜4J C合同例会事業報告決算書について（事務局）
- 13、12月例会卒業式2019補正予算について（事務局）
- 14、12月例会卒業式2019事業報告について（事務局）
- 15、監事辞任について（事務局）
- 16、1月総会について（事務局）
- 17、2019年度決算（案）について（事務局）

【会議報告】

会議名	期日	会場	登録者
京都会議	1月18日（金）～ 20日（日）	京都	小関 幸一、梅津 壮一郎、井上 典嗣、樋口 和哉、横澤 吉紀、斎藤 圭央、小松 雄一
金沢会議	2月22日（金）～ 24日（日）	金沢	-
ASPAC	6月17日（月）～ 20日（木）	大韓民国・済州	-
サマーコンファレンス	7月20日（土）～ 21日（日）	横浜	大泉 紀也
JCI世界会議	11月4日（火）～ 8日（金）	エストニア	-

【会員動向】

卒業生 5名	樋口 和哉、井上 典嗣、梅津 壮一郎、中川 一聖、小笠原 昭夫
入会者 1名	四釜 靖之
休会者 0名	
退会者 4名	飯沢 栄人、小松 雄一、渋谷 祥平、渡部 清隆

【総会報告】

総会種類	日時	場所	議案
1月通常総会	1月30日 (水) 19:00～	タスパークホテル アゼリア	第1号議案 2018年度決算(案)承認の件 第2号議案 2019年度理事役員選任の件 第3号議案 監事選任の件
8月通常総会	8月22日 (木) 18:00～	グランパリス パーティリゾート	第1号議案 2020年度理事候補者承認の件 第2号議案 2020年度理事長候補者承認の件 第3号議案 2020年度監事選任の件

【大会報告】

大会名	期日	会場	登録者
ブロック大会 鶴岡大会	7月6日(土)	鶴岡	小関 幸一、梅津 壮一郎、井上 典嗣、玉橋 恵子、斎藤 憲幸、樋 口 和哉、船山 裕紀、横澤 吉紀、 四釜 靖之、大泉 紀也、斎藤 圭 央、小林 和正、小松 雄一
東北青年フォーラム in 能代	9月7日(土)～ 8日(日)	秋田県能代市	梅津 壮一郎、斎藤 憲幸、船山 裕紀、横澤 吉紀、四釜 靖之
全国大会 富山大会	10月11日(金)～ 13日(日)	富山県富山市	梅津 壮一郎、井上 典嗣、樋口 和哉、船山 裕紀、横澤 吉紀、 四釜 靖之、斎藤 圭央

【祝 事】

周年事業名	期日	場所	出席者
山辺 J C 40周年	6月29日(土)	山辺町	梅津 壮一郎、斎藤 憲幸、 船山 裕紀、小林 和正
新庄 J C 55周年	9月22日(日)	新庄市	小関 幸一、梅津 壮一郎、 横澤 吉紀、 斎藤 圭央

【例会報告】

例会	期日	会場	主管	内 容
1月総会	1月30日 (水)	グランパリス パーティリゾート	2018年度 事務局	第1号議案 2018年度決算(案)承認の件 第2号議案 2019年度理事役員選任の件 第3号議案 監事選任の件
2月例会	2月20日 (火)	旅館 エビタヤ	事務局	第4エリア ブロック会長公式訪問
3月例会	3月16日 (土)	グランパリス パーティリゾート	人材育成 委員会	行動力向上セミナー
4月例会	4月19日 (金)	HOTEL SLOW VILLAGE	会員拡大 特別会議	異業種交流会
5月例会	5月15日 (水)	長井市豊田体育館	会員拡大 特別会議	SMILE by SPORTS 例会
6月例会	6月23日 (日)	最上川河川緑地公 園及びフットパ ^o スコース	まちづくり 委員会	最上川河川緑地公園周辺整備事業
7月例会	7月28日 (日)	川西町	ひとづくり 委員会	逃走中～子供たちのために今、 私たちができること～
8月総会	8月22日 (木)	グランパリス パーティリゾート	事務局	第1号議案 2020年度理事候補者承認の件 第2号議案 2020年度理事長候補者承認の件 第3号議案 2020年度監事選任の件
9月例会	9月19日 (木)	タスパークホテル フュージョン	事務局	次年度理事長候補者所信(案)発表例会
10月例会	10月25日 (金)	甲子大黒天本山 大神殿	事務局	置賜4J C合同例会
11月例会	11月16日 (土)	白鷹町文化交流セン ター あゆーむ	事務局	地域活性化事業 「わたくしたちのまちの音、まちの色演奏会」
12月例会	12月20日 (金)	中央会館	事務局	卒業式

【事業報告】

事業名	期日	場所	主管
納涼パーティー	8月22日(木)	グランパリスパーティリ ゾート	会員拡大特別会議
地域活性化事業 「わたくしたちのまち の音、まちの色」	8月7日(水)	白鷹町文化交流センター あゆーむ	まちづくり委員会
J C 杯中学野球大会	10月5日(土)	T B C 野球場	ひとづくり委員会
西野亮廣氏講演会	12月12日(木)	白鷹町文化交流センター あゆーむ	人材育成委員会

【例会出席状況】

	役職名	理事	氏名	1月例会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	8月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月例会	出席回数	出席率
1	理事長	◆	小関 幸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
2	直前理事長	◆	梅津 壮一郎	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	11	92%
3	監事		井上 典嗣	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
4	副理事長	◆	玉橋 恵子	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	9	75%
5	副理事長	◆	齋藤 憲幸	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	83%
6	会員拡大特別会議議長	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
7	専務理事	◆	船山 裕紀	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	11	92%
8	ひとづくり委員会委員長	◆	渋谷 祥平	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	5	42%
9	副委員長	◇	横澤 吉紀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	11	92%
10			渡部 清隆	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
11			飯澤 栄人	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
12			加藤 渉	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	2	17%
13			四釜 靖之	△	△	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○	8	67%
14	まちづくり委員会委員長	◆	吉川 明紀	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	9	75%
15	副委員長	◇	小笠原 昭夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
16			中川 一聖	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	4	33%
17			丸山 昂	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	10	83%
18			牛澤 栄一	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	8	67%
19	人財育成委員会委員長	◆	大泉 紀也	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
20		◇	梅津 拓郎	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	7	58%
21		◆	小松 祐一郎	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	8	67%
22	会員拡大特別会議副議長	◆	齋藤 圭央	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	10	83%
23	事務局長	◆	小林 和正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
24	事務局次長	◇	小松 雄一	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	8	67%
出席数				15	15	17	15	20	14	15	19	18	16	15	21		
出席率				68%	68%	77%	65%	87%	58%	63%	79%	69%	62%	58%	81%		

公益社団法人長井青年会議所
2019年度 代表理事職務執行報告

理事長 小関 幸一

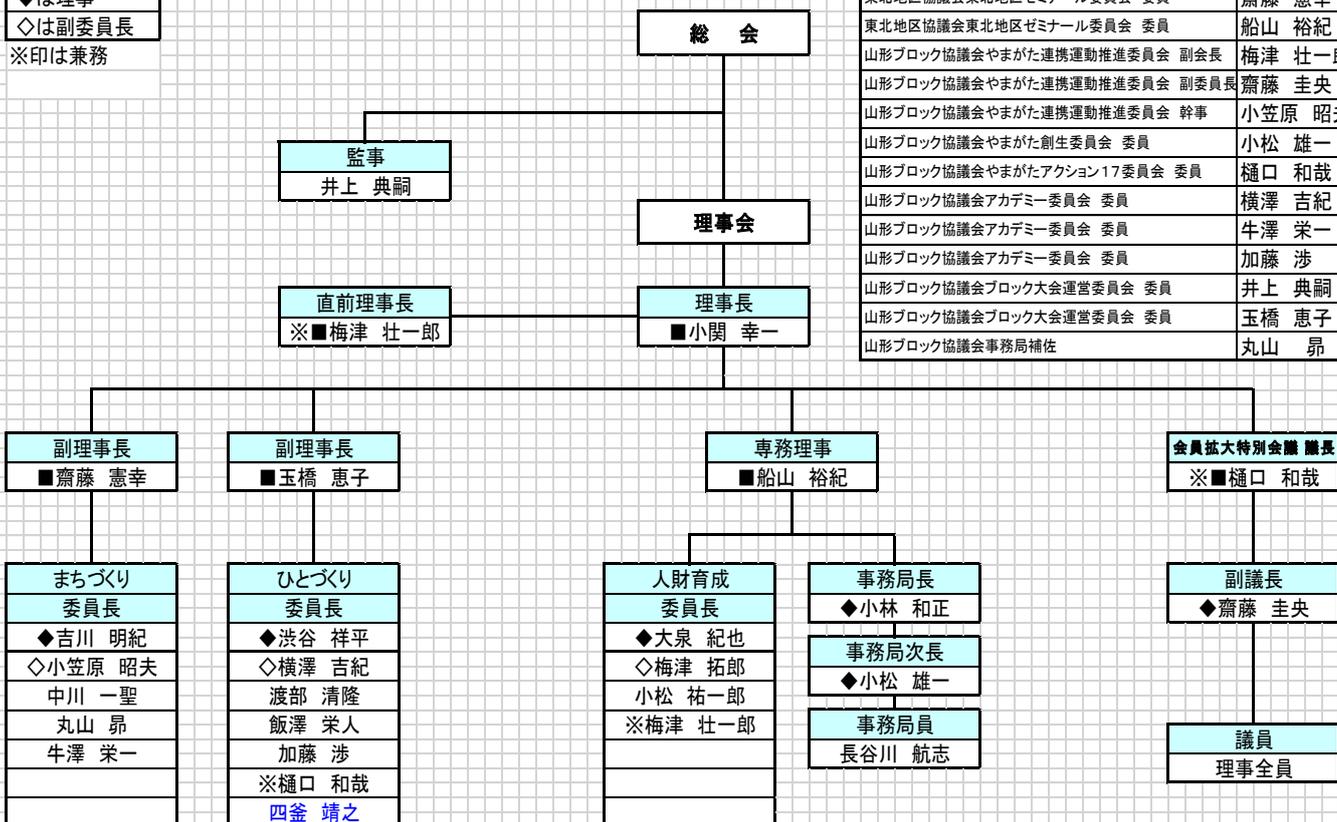
期 日	内 容	場 所	代理出席者
10月28日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議	山形市 ホテルキャッスル山形	
11月19日	西方茂太君を励ます会	高島町 よねおり観光センター	
11月22日	日本青年会議所 2019年度事業説明会	八戸市 八戸グランドホテル	
11月23日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議	鶴岡市 出羽庄内国際村	
11月30日	東北地区 第1回会員会議所候補者会議	仙台市 仙台ロイヤルパークホテル	
12月17日	ながい雪灯り回廊まつり 第1回実行委員会	タスパークホテル	玉橋・渋谷
12月21日	置賜4JC新旧理事長・専務会	高島町 たかはた家	
1月4日	長井市新春祝賀会	タスパークホテル	
1月7日	小国町長・飯豊町長・白鷹町長へ新春のご挨拶	小国町役場・飯豊町役場・白鷹町役場	
1月8日	長井市長へ新春のご挨拶	長井市役所	
1月17日	長井商工会議所新春祝賀会	タスパークホテル	
1月18日	東北地区 第1回会員会議所会議	京都市 京都国際会議場	
1月18～20	日本青年会議所 京都会議 日本JC総会	京都市 京都国際会議場	
1月24日	山形JC新春賀詞交歓会	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
1月25日	ながい雪灯り回廊まつり 第2回実行委員会	タスパークホテル	玉橋・渋谷
1月26日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所会議	山形市 食糧会館	
1月26日	山形ブロック協議会 アカデミー開校式	山形市 食糧会館	
1月26日	山形ブロック協議会 新春賀詞交歓会	山形市 グランドホテル	
2月2日	山形ブロック協議会 SDGsの理解を深めるセミナー	山形市 霞城公民館	
2月4日	あやめまつり委員会	川のみなと長井	
2月9日	2019年度東北ゼミナール委員会開講式	仙台市 仙台迎賓館 斎苑	
2月19日	置賜さくら回廊観光推進会議 総会	パレス松風	
2月20日	西置賜倫理法人会 モーニングセミナー講師	タスパークホテル	
2月21日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	はぎ苑	
3月6日	第15回長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
3月6日	国際ソロプチミスト チャリティー和インパーティー	タスパークホテル	
3月11日	あやめまつり委員会	川のみなと長井	梅津(壮)・玉橋
3月14日	平成30年度長井市まちづくり青少年育成市民会議理事会	長井市教育委員会	
3月21日	開業30周年記念フラワー長井線利用拡大シンポジウム	川のみなと長井	
3月22日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	東京都 青年会議所会館	
3月23日	日本青年会議所第160回総会	東京都 東京ビックサイト(東京国際展示場)	
3月26日	長井ロータリークラブ例会卓話	タスパークホテル	
3月28日	平成30年度第1回あやめ公園再整備検討委員会	長井市役所	
3月29日	置賜4JC理事長・専務会	高島町 なか川	
4月7日	ゴミシヨイワッショイ	川のみなと長井	
4月9日	2014JCI ASPAC山形大会五周年記念式典・祝賀会	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
4月24日	第1回中央コミュニティセンター運営協議会	長井市中央コミュニティセンター	
4月26日	山形ブロック協議会 「やまがた防災連携運動」	上山市 上山商工会館	
4月26日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	上山市 上山商工会館	齋藤(圭)
4月27日	山形ブロック協議会 西方茂太会長ご祖父葬儀	高島町 セレモニーホールたかはた	
5月7日	青团連役員会並びに第一回運営委員会	長井市教育委員会	
5月13日	長井市観光協会理事会	タスパークホテル	
5月18日	山形ブロック協議会 2019全国骨髓バンクボランティアの集いin山形	天童市 天童ホテル	
5月23日	長井市観光協会総会	タスパークホテル	
5月24日	平成31年度長井市防犯協会総会	長井市置賜生涯学習プラザ	
5月27日	平成31年度第1回山形鉄道公共交通活性化協議会	タスパークホテル	
5月27日	フラワー長井線利用拡大協議会	タスパークホテル	
5月27日	タンザニア後藤真一大使講演会	タスパークホテル	
5月30日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	高島町 生涯学習館	

6月4日	令和元年度 やまがた冬のあった回廊キャンペーン実行委員会総会	米沢市 伝国の杜	
6月5日	長井市明るい選挙推進協議会総会	長井市役所	梅津(壮)
6月5日	国際ソロプチミスト 認証30周年記念式典	タスパークホテル	
6月23日	平成31年度「やまがた若者チャレンジ応援事業」プレゼンテーション	山形市 ビックウイング	玉橋・吉川
6月24日	令和元年 長井商工会議所会員の集い	タスパークホテル	
6月25日	令和元年度 親和会総会	酒楽	
6月26日	山形鉄道株式会社第31回定時株主総会	置賜総合支庁西置賜地域振興局	
6月26日	置賜4JC理事長・専務会	米沢市 金剛閣	
6月28日	令和元年度第1回あやめ公園再整備検討委員会	あやめ公園	
6月29日	一般社団法人山辺青年会議所創立45周年記念式典並びに祝賀会	山辺町 山辺町中央会館	
7月1日	第69回「社会を明るくする運動」長井大会	長井市置賜生涯学習プラザ	
7月4日	令和元年度置賜地域奥羽新幹線整備・米沢—福島間トンネル整備実現同盟会	米沢市 グランドホクヨウ米沢	
7月6日	山形ブロック協議会 第52回山形ブロック大会鶴岡大会	鶴岡市 荘銀タクト	
7月8日	令和1年度 災害VC連絡会	長井市老人福祉センター	
7月11日	第25回参議院議員通常選挙における期日前投票所投票立会人	タスパークホテル	
7月20日	日本青年会議所 サマーコンファレンス2019	横浜市 パシフィコ横浜	
7月31日	置賜4JC理事長会	高島町 高島町商工会館	
8月3日	内閣官房東京オリパラ推進本部平田竹男事務局長講演会	タスパークホテル	
8月23日	山形ブロック協議会 第1回臨時会員会議所会議	山形市 ビックウイング	
9月4日	国際ソロプチミスト 第19回チャリティーゴルフ大会	川西町 山形南カントリークラブ	
9月7日	2019年度 東北青年フォーラムin能代	能代市 能代文化会館	
9月9日	長井商工会議所 情報・サービス部会 臨時総会	So-Bar 水杜里	
9月19日	11月13日弁当の日の講演会に係る打ち合わせ会	長井市教育委員会	
9月21日	ふれあい福祉まつり	生涯学習プラザ	
9月22日	公益社団法人新庄青年会議所創立55周年記念式典・祝賀会	新庄市 市民プラザ	
9月26日	村山・置賜地域合同災害ボランティアセンター運営協議会	米沢市 置賜総合支庁本庁舎	
9月27日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	村山市 飯葉プラザ	
10月11~13	公益社団法人日本青年会議所 第68回全国大会富山大会	富山市 オーバード・ホール	
10月19日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議	鶴岡市 東京第一ホテル鶴岡	
10月19日	山形ブロック協議会 アカデミー委員会第4回プログラム・閉講式	鶴岡市 東京第一ホテル鶴岡	
10月19日	長井市ホストタウン事業記念講演会	長井市置賜生涯学習プラザ	齋藤(憲)
10月23日	第17回長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
10月24日	山形県次期総合発展計画に向けた意見交換会	山形市 山形県私学会館	
10月25日	令和元年度第2回あやめ公園再整備検討委員会	長井市役所	
10月27日	令和元年度 長井市総合防災訓練	致芳小学校	梅津(壮)
10月30日	山形ブロック協議会 同業種交流会	山形市 パレスグランデール	
11月2日	置賜4JC理事長・専務会	縄文そばの館	
11月20日	中央会館60周年記念祝賀会	中央会館	
11月24日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議	山形市 山形市霞城セントラル	
11月24日	山形ブロック協議会 YAMAGATA AWARD2019 表彰式	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
11月24日	山形ブロック協議会 2019年度卒業式	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
11月27日	令和元年度第1回長井市振興審議会	市保健センター	
11月30日	令和元年度長井市青年団体連絡協議会交流会事業	Cafe&Bar LEGACY	
12月9日	大竹薫先輩告別式	タスパークホテル	

公益社団法人長井青年会議所 2019年度 組織図

■は常任理事
◆は理事
◇は副委員長
※印は兼務

2019年度 出向者	
東北地区協議会東北地区ゼミナル委員会 委員	齋藤 憲幸
東北地区協議会東北地区ゼミナル委員会 委員	船山 裕紀
山形ブロック協議会やまがた連携運動推進委員会 副会長	梅津 壮一郎
山形ブロック協議会やまがた連携運動推進委員会 副委員長	齋藤 圭央
山形ブロック協議会やまがた連携運動推進委員会 幹事	小笠原 昭夫
山形ブロック協議会やまがた創生委員会 委員	小松 雄一
山形ブロック協議会やまがたアクション17委員会 委員	樋口 和哉
山形ブロック協議会アカデミー委員会 委員	横澤 吉紀
山形ブロック協議会アカデミー委員会 委員	牛澤 栄一
山形ブロック協議会アカデミー委員会 委員	加藤 渉
山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会 委員	井上 典嗣
山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会 委員	玉橋 恵子
山形ブロック協議会事務局補佐	丸山 昂



まちづくり委員会 事業報告書

●担当副理事長 齋藤 憲幸

●委員長 吉川 明紀

●副委員長 小笠原 昭夫

●幹事 井上 典嗣

●委員 中川 一聖

●委員 丸山 昂 ●委員 牛澤 栄一

委員長所感

委員長として初めて事業に取り組んだ一年でしたが、チームを導くという事の難しさを感じました。資料作成と理事会対応、そして開催準備に余裕を持って取り組むことができず、自己完結してしまった部分が多くありました。非常に力のある優秀な委員会メンバーが揃っていたのにも関わらず、その力を発揮してもらおう場所を私がうまく作れず、メンバーの貴重で大切な機会を奪ってしまったことが一番の心残りです。しかし、このような未熟な委員長の元にもかかわらず、齋藤副理事長、井上幹事をはじめ委員会メンバーはいつも全力で事業に取り組み、わたしを心身ともに助けてくれました。本当に心から感謝しています。

また、いつもサポートしていただいた小関理事長をはじめとするまちづくり以外のメンバーの皆様にも感謝しています。この1年がなければ得られなかった学びが多くありました。この経験を無駄にせず、引き続き頑張っ活動していきたいと思ます。1年間ありがとうございました。

6月例会 最上川河川緑地公園周辺整備事業

1. 事業概要

今年、地域の方々と最上川河川敷のフットパスコースをゴミ拾いをしながら散策し、長井の風景を楽しみながら景観を保とうとする意識を高めた後、最上川河川緑地公園に花を植える事業を行いました。

地域をより快適に美しく保つ活動に直接参加することは、自分の住む地域に、より深い愛情や自信を持つことに繋がります。また、大人から子どもまで、一緒に作業することで世代間交流が生まれます。子どもは話を聞くことで地域の勉強になり、大人は子どもの柔軟な発想から地域の魅力を再認識する機会になると考えます。

イベントの最後に、参加した感想と自分の住む街が今後どうなって欲しいかを簡単に発表して貰い、地域への関心がさらに深まるような事業にしました。

2. 実施日時：6月23日(日) 8:00~12:00

3. 実施場所・会場：最上川河川緑地公園

4. 事業対象者：長井市の地域住民の一般参加者

5. 参加者募集方法：ホームページ、facebook、長井市報、チラシ

6. 決算総額：¥20,597

7. 参加員数：21名

◆内部

担当委員会：(6名)、その他メンバー：(9名)

◆外部

一般参加者：5名、長井市建設課：1名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人 長井青年会議所

〔共催〕 長井市

9. 実施プログラム

8:00 委員会メンバー集合(集合場所:川のみなとながい)
会場設営

8:30 メンバー集合 司会:牛澤

8:40 理事長挨拶(メンバー向け)(~8:45予定)

受付の際に飲み物とジョロペットを渡す

9:00 一般参加者集合(全行程参加者)

9:02 理事長挨拶(小関理事長)

9:07 活動内容説明(小笠原副委員長)

9:10 フットパスコース散策・ゴミ拾い

10:20 散策終了、休憩

10:30 花植え開始(ベコニア・マリーゴールド・サルビア・
メランポジウム・芝桜)

11:10 花植え終了

11:15 班分けをし班ごとに事業に参加しての感想と今後
長井がどんな街になって欲しいか発表しあい、共有する。

11:25 写真撮影

11:35 後片付け

12:00 完全撤収

<管理スケジュール>

7/22 水祭りにむけ花壇の草むしり

7/29 水祭りに向け花壇の草むしり

10/23 マルチシート外し

※10/25 台風被害を受け、長井市が重機にて花壇撤去作業をおこなった。

10. 引き継ぎ事項

・銀行にも、個人にももっとロコミの力で直接お誘いをするようにした方が良い。チラシの配布先にメンバーの知り合いがいたら後方支援をお願いするなどしたほうが良い。

・実施日に天候が悪化した場合の実施の判断基準や連絡網の確認は必須。特に外部参加者への連絡が取れるように。

・水害で花壇が重機によって撤去されてしまったので、建設課の担当者に状況確認をし、しっかり打ち合わせをして事業を行う必要がある。

11. 各担当者所見

◆委員長：吉川 明紀

事業の準備が遅く、一般参加者が少なくなってしまったことは大きな反省点です。普段何気なく通り過ぎている場所も、景観保持のために多くの方が関わっていることを実感し、自分も地元の為に何かをしたいと思えるような事業にしたいと行った植物の説明や、小ネタを挟みながらのウォーキングは聞き取りの感想が良好ただけに、少ない人数に留まったことは悔やまれます。目的達成のために、まずは完璧なスケジュール管理がいかに大切か実感しました。

こうして花壇を任せてもらって事業ができるという事は非常にありがたいことで、地元とかかわりを大切にしながら取り組むべきという事を再認識しました。

◆担当副理事長：齋藤憲幸

この事業は、地域の愛着を高めること、景観を守って行く意識を高めることを目的に実施しました。参加者が花や植物を通してフットパスコースを楽しく歩き関心を持って貰えた様子が見えたり、楽しそうに花植えをする様子が見られ、良い事業だったと思います。台風による増水により花壇から植物が撤去されてしまったのは残念でしたが、当日参加していただいた皆様、草むしり等の管理作業にお手伝いいただいたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

地域活性化事業

「わたしたちのまちの音、まちの色」

1. 事業概要

①長井市・西置賜の小学生を対象に、故郷をテーマにしたアート教室の開催。8月7日(水)

- ・アーティストに、西置賜地区のイメージをもとにした音楽の演奏、地元の民話をもとにした話をしてもらう。
- ・その音を聞いて感じたイメージ、目の前に広がる景色のイメージを膨らませ、段ボール獅子頭と大判の布に絵を描く。
- ・布は獅子の胴膜なる。
- ・演奏に合わせて、このまちをきっかけに生まれた音を聞いて自分たちで生み出した新たな獅子で、自分たちだけの新しい獅子舞をする。

②プロのアーティストに、①で作成した作品と、山形のイメージから曲を作曲してもらい、演奏会を開催する。11月16日(土)

- ・アート事業に参加した子どもたちに自分たちの獅子舞で演奏会に参加してもらう。

・演奏家と子どもたちによってこの地域からこの地域だからこそ生み出されたものを地元の人たちに見て聞いてもらう事で、郷土への関心を高め、愛着を育む。

・自分たちの住むまちを活かして、このまちだからこそできる面白い活動を体験してもらう。

2. 実施日時：2019年8月7日(水)、11月16日(土)(計2回)

3. 実施場所・会場：白鷹町文化交流センター

4. 事業対象者

8月：長井市、西置賜地区を中心とした小学生

11月：8月参加の子ども達やその保護者、地元の方を中心とした一般の方

5. 参加者募集方法

・同時に白鷹町・長井市の高校にチラシを配布し一般ボランティアを募集。

・演奏会(11月)：ポスター掲示、チラシ配付(西置賜地区の小中学生、公共施設等)、

HP・SNS等、YBCラジオ、山形新聞、読売新聞週末イベント紹介、白鷹町文化交流センターメールマガジンリスト。

Facebook 広告、あゆむでのホールイベント2回・川西でのコンサート1回に挟み込み。

※両事業とも、他にも無料のイベント紹介サイトを利用。

Facebook 内の無料イベント紹介グループ、山形未来 Lab のイベント紹介ページ、「やまがた若者交流ネットワーク」の SNS 等。

6. 決算総額：¥916,773

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(12名)、その他メンバー：(18名)

◆外部 164名

8月小学生(36人)、8月講師(3名)、8月高校生ボランティア(4名)

一般ボランティア(14名)、11月講師(4名)、鮎貝語り部クラブ(3名)

一般ボランティア(7名)、一般客(80名)

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕公益社団法人 長井青年会議所

〔共催〕白鷹町文化交流センター

〔後援〕白鷹町、白鷹町教育委員会、長井市教育委員会、

〔協力〕あゆむアートキッズ団、山形県立長井高等学校、

若者支援コンシェルジュ事務局、

山形県子育て推進部 若者活躍・男女共同参画課

9. 実施プログラム

8月3日(土) 道具準備開始

8月6日(火) 前日準備

16:30~18:30 アーティスト到着、搬入セッティング：対応 吉川

17:00～18:30 吉川、渡辺久美先生、集合可能メンバーで
事前準備
18:30～20:00 アーティスト音出しリハーサル
20:30 退館

8月7日(水) 夏休み特別授業ワークショップ

8:00 メンバー、渡辺先生集合：当日の流れの確認、準備
8:30 アートキッズ団講師集合、協力者集合：流れの確認、
役割分担の説明
8:45 一般参加者受付開始
8:05 吉川より趣旨説明、理事長よりあいさつ
9:05 授業開始
■練習タイム
1、リズムと筆：音を絵にする演習
2、音とかたち：音からかたちを想像する
8:50 ■布を外の芝生の上で乾かしている間、演奏家によ
るミニコンサートを行った。
9:05 ■命を与える！：抽象的な形に墨で絵を書き足して
生き物にする。
9:35 ■真っ白なダンボール獅子頭を違う生き物になるよ
うに色を塗ったり部材を貼り付けて装飾。
※演奏家が作曲するためにそれぞれ選んだ昔話に
出てくるキャラクターに作り替えた。
カエル、牛、山姥、太郎、嫁、姑
11:40 ■完成！：できたキャラ頭に乾かしていた布を取り
付け、自分たちだけのキャラ舞（獅子）の出来上が
り！皆で踊ってみよう。
ホールで待った後、芝生へ出て外でもキャラ舞をする。
子どもたちのサポートや画材の補充をアートキッ
ズ団の講師陣にお願いする
メンバーはそのサポートを行いつつ、汚れが出た際
に随時清掃を行う。
特に武さんはアートワークに参加し、子どもたちの
創作活動を盛り上げる役割も担う。
自分たちが自由に創作したものから、馴染みがある
はずなのにいつも見ているのとはまた違った新し
いものが生まれる感覚を味わってもらおう。
12:00 クロージング、小学生アンケート記入
※高校生ボランティア、講師陣は小学生アンケート
の記入を手助けする。
アンケート記入が始まったら、その他のスタッフ、
メンバーは後片付けを行う
12:15 小学生解散
スタッフで後片付け、掃除

12:30 スタッフアンケート記入
12:45 青年会議所メンバー、ボランティアスタッフ解散
13:00 音楽家、アートキッズ団講師昼食
※参加したい方は参加可（飲食物は各自持ち込み）

11月16日(土) 演奏会とキャラ舞披露
(小林武文・鈴木広志・田中庸介・武 徹太郎)

9:00 委員会メンバー集合、会場準備（動き回れるように
椅子の感覚を広く）
10:00 リハーサル
12:00 メンバー集合、簡易例会セレモニー
13:00 子どもたち集合、アーティストとリハーサル
13:30 開場
14:00 開演 70 分
理事長挨拶、8月の事業紹介

■コンサート内容
各メンバーオリジナル等 5-6 曲演奏予定
※物語を題材にした前回の3曲演奏時、キャラ頭をステージに。
「鮎貝語り部クラブ」さんに物語を読んでもらう⇒始まる
という流れで3曲
※コンサート終盤
今回はキャラ舞をモチーフに新たに作曲した曲の演奏
その曲に合わせて子供たちにはキャラ舞をかぶって動き
回ってもらおう
キャラ舞のテーマ演奏時
最初はステージの前に並べておく
曲の途中から子供たちに来てもらって
ワイワイ言いながらかぶって動き回ってもらおう
また、当日参加してくれた新しいお友達がいたら一緒に
やろうと促す。
置賜のカエルと村山の蛙 / 蛙
行げざんざんの梨 / 白髭の爺さん 山姥、牛
四百（よんひゃぐ）ぶらりん / 嫁、姑
キャラ舞のテーマ / すべてのキャラ舞と子供たち
15:30 終了、アンケート記入
15:45 撤収、片づけ、交流会準備
16:20 交流会
17:30 解散
10. 引き継ぎ事項
・ボランティア募集などは早めに行って、より多くの大人にか
かわっていただいた方がよい。
・アート事業の際には、終わりの締めをきちんとしてメリハリ
を持たせたほうが良かった。

- ・スタッフとして参加した大人たちにも効果があるので、アンケートだけでなく、スタッフとメンバーでの情報交換をもっとしっかり行った方が効果が高いと思われる。
- ・協賛金活動に入る前に、理事会参加者以外のメンバーにもっと丁寧に事業内容や目的について周知するべき。
- ・班ごとに担当スタッフをつけて、子どもたちとのコミュニケーションや声かけをもっと積極的に行ってもよい。
- ・ある程度の後片付けまで子どもたちと一緒にやるような事業内容にすると良い。
- ・子どもたちは大人が思っている以上に感性が鋭いので、媚びた内容にしないほうが良い。

バランスを考えて講師やアーティストと相談して内容を精査することが大切である。

11. 各担当者所見

◆委員長：吉川 明紀

「想像力と感性を育み相互理解を促進することで共に生きる社会の基盤の形成」、「ゆとりや潤いを実感できる心豊かな生活の実現」という、まちづくり委員会の目標を実現するためのメイン事業として行った地域活性化事業ですが、多くの方に関わって頂き、ご意見を頂戴して修正を重ねた結果、当初の予定を超えた中身の濃い事業になりました。目的を、メンバー間で共有したのち、外部の協力者へもしっかり伝えることで、各々がその達成のために何が必要なのかを考え行動してくれ、結果的に完成度の高い事業が展開できたと思います。感謝とともに、地域について考えて行動する機会を創出し提供できた喜びも

感じました。運営や事業構成での反省点をしっかり確認し、他の事業へも繋げていきたいと思っています。

アンケートでは、参加してよかったという意見や、自分たちの普段抱えている地元のイメージと違うものを見ることができたという感想を多く頂戴しました。地域への愛着を育むという点においてはまだ物足りない部分があり反省もあります。しかし、皆と一緒に、自分たちの手で、この地元でなくてはできない作品を産み出したという体験が、子どもたちをはじめとする参加者のこれからの人生で、自信や柔軟な発想を生み出すきっかけになれたのではないかと思います。

◆担当副理事長：齋藤 憲幸

今回、長井JCとして初めて音楽とアートを組み合わせ、いつもと違う視点から地域の魅力を発見する力を高め、地域への愛着を育むこと、他団体や地域の方が新たに出会う場となり、新しい交流関係が生まれることを目的として事業を開催しました。地域の昔話を音楽という視点から感じ、子ども達それぞれの感性でそれを絵として表現する、感じ方の違いを知り認めることは人の輪を作り、新たな視点で地域を知ることは魅力を生む力となる、そんな体験をした人が増えて行くことは地域活性の大きな運動となると信じています。初めての事業ということもあり、改善点はあったと思いますが、可能性を感じさせる事業であったと感じています。今後の為にもしっかりと報告し引き継ぎを行います。

最後に、協力団体の皆様、参加者の皆様、メンバーの皆様、ご協力ありがとうございました。

ひとづくり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 玉橋 恵子 ●委員長 渋谷 祥平 ●副委員長 横澤 吉紀
 ●委員 渡部 清隆 ●委員 飯沢 栄人 ●委員 加藤 渉 ●委員 四釜 靖之

委員長所感

今年度は渋谷委員長が体調をくずされて委員長の代理として活動をさせていただきました。引き継いだ事業を展開していくなかで感じたのはJCメンバーの皆様と過ごす日々の楽しさ、そして事業後の地域の方々、参加していただいた子どもたちのご父兄様からの温かい励ましの言葉のおかげでここまで活動できたと思います。

反省すべきことがなかったとは言いません。ですがそれ以上に子どもたちの笑顔が見れたことが反省点以上の満足感を私に与えてくださいました。これを自身の今後活かして行きたいと思っています。

最後に今年度は全メンバーに支えられ、励まされ進んで来ました。一年間ありがとうございました。

7月例会

逃走中～子供たちのために今、私たちができること～

1. 事業概要

ゲーム性を持たせたスポーツ交流事業（逃走中）の開催へ向け、メンバーを対象とした「逃走中」を実施し、実際に体験してもらいながら、教職員経験のある方（竹田京子先生、平田律子先生、浅井理智子先生）に協力いただき、当日の注意事項や危険箇所への配慮、けが等への応急処置の仕方をご指導いただきました。

- ・実施予定の逃走中を、メンバーで実際行いました。
- ・先生方には実際の逃走中を見学してもらい危険箇所の精査をしていただきました。
- ・逃走中後、メンバーでグループワークを行い、危険箇所、注意事項の洗い出しをしました。
- ・話し合った結果を発表した後、先生方より講評をいただきました。
- ・事業の最後に先生方より緊急時の応急処置の仕方を指導いただきました。

2. 実施日時：7月28日（日）13:00～

3. 実施場所・会場

川西町交流館あいばる(旧川西町立第二中学校)

4. 事業対象者

長井青年会議所会員

5. 参加者募集方法：メール、LINE、案内文

6. 決算総額：

7. 参加員数：15名

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(11名)

◆外部

教職員経験者3名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人長井青年会議所

〔協力〕竹田京子先生、平田律子先生、浅井理智子先生

9. 実施プログラム

- 12:00 委員会メンバー集合 川西町交流館あいばる
委員会メンバーで宝箱設置、危険箇所移動、立ち入り禁止区域設置
- 13:00 JCメンバー集合
- 13:05 例会セレモニー
- 13:10 事業説明 理事長挨拶、講師紹介、趣旨説明、役割分担
会場内説明 会場内を見て回りながら、危険箇所や禁止場所等の確認をする。
- 13:45 逃走時間：20分×1回 30分×1回(計50分)
逃走者とハンターは入れ替えて行う
逃走中前半開始 会場内にある宝箱を探しながらハンターから逃げる。
ハンターは30秒後スタート
- 13:55 ミッション始動 内容はアナウンスにて通達
- 14:05 逃走中前半終了 終了はアナウンスにて通達
給水インターバル ハンター役変更通達

- 14:10 逃走中後半開始 会場内にある宝箱を探しながらハンターから逃げる。
ハンターは30秒後スタート
- 14:25 ミッション始動 内容はアナウンスにて通達
- 14:35 ミッション始動 内容はアナウンスにて通達
- 14:45 逃走中後半終了 終了はアナウンスにて通達
休憩 10分間
- 14:50 グループワーク グループに分かれて危険箇所を洗い出ししながら当日の注意事項等をディスカッション
- 15:20 発表 先生方からの意見などを交えながら考え方の相違を見出す。
- 15:34 指導 竹田京子先生から緊急時における対応の仕方を学ぶ。
- 16:03 後片付け 範囲が広いのでグループ分けして行う
- 16:35 事業終了
監事講評 監事 井上典嗣
- 16:45 解散 ※時間厳守

10. 引き継ぎ事項

- ・西置賜圏内での開催を目標としていたが屋内に限定してしまうと会場がなかった。
- ・夏場の開催は熱中症の恐れがあるため控えた方がいい。
- ・今回は先生方に協力を依頼したが別の目線という意味でも一般の親御さん、障害施設の職員などを招いてみてもいい。
- ・今回はハンター有利の条件下だったので逃走者に有利の検証もあってよい。
- ・万が一の事を踏まえ保険の加入、内容の精査をする。

11. 各担当者所見

◆副委員長：横澤 吉紀

今回の事業はメンバーの皆様にご協力のおかげで青少年育成事業に繋がることが目的として多くを占める事業でした。まず危惧したのは童心に戻って子供たちの気持ちになってもらえるかでしたが子供を持つメンバーもそうでないメンバーも無邪気に逃走中に没頭する姿をみて報われたと感じました。準備不足は否めない感はあるに依り皆様にご不便をかけたと思いますが、メンバーの皆様のご協力のおかげで青少年育成事業に向けての課題と方向性が見出せました。また先生方にも積極的にボランティアでの参加をして頂き、それによって子供たちに対する接し方などを皆様と共有できるいい機会にもなりました。自分も子供をもつ親の身でありながら気づかされることや学びが多々あった事業でもあり、これも皆様の協力があったからこそだと思われまます。ご協力ありがとうございました。

◆担当副理事長：玉橋 恵子

当初は、本例会を対外事業として実施することを予定していましたが、様々な理由により変更を余儀なくされ、秋季開催の事前検証を図る内部例会としての形に至りました。当初の予定通りに事業を進められなかったことは、副理事長として力不足を感じています。

例会当日は、多くのメンバーに参加いただき、童心に返りながら事業を楽しむ姿が見られ、その後のWSでは改善すべき部分を共有し議論することができました。また、先生方からは、子どもと関わるうえで必要な対処スキルや心構えをご教示いただき、本事業だけでなく、今後の青年会議所事業全般に活かすべき知識を伝えていただきました。本事業で得た成果を秋季事業の成功に繋げることを目指し、委員会全体で協力して取り組んでまいります。ありがとうございました。

第28回JC杯中学野球大会

1. 事業概要

西置賜地域の中学校に参加を呼びかけ、大会参加の経験が少ない1年生が主となる大会を開催しました。

2. 実施日時：10月5日

3. 実施場所・会場：TBC球場

4. 事業対象者

長井市、西置賜地域の野球部に所属する実戦経験の少ない生徒を中心とした中学生

5. 参加者募集方法

長井市、西置賜地域の各中学校に案内を送付。

6. 決算総額：¥38,1591

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(9名)

◆外部

中学生、先生：50名、審判員：3名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

〔共催〕 長井市野球協会

〔主管〕 西置賜地区中学校体育連盟野球専門部

〔協力〕 すぽ一つ品ミヤカワ

9. 実施プログラム

5:45 会場にて天候判断

7:30 メンバー集合

7:35 メンバー内説明会

7:41 運営責任者にあいさつ

監督会議・開会式案内・会場運営確認

参加校顧問にあいさつ

参加料受領・監督会議・開会式案内

審判員にあいさつ

監督会議・開会式案内・弁当準備の確認

8:05 監督会議

8:15 開会式

開会：司会：四釜靖之

トロフィー返還：前回優勝校・大会会長（小関理事長）

主催者挨拶：長井JC小関理事長

大会副会長挨拶：運営責任者（小国中学校 佐々木先生）

審判挨拶：審判長：横山審判長

選手宣誓：代表校（前年度優勝校：白鷹中）

注意事項連絡：運営責任者（小国中学校 佐々木先生）

8:50 始球式 長井JC小関理事長

9:00 第一試合

11:15 第二試合

昼食

13:30 第三試合

15:13 閉会式

選手整列

結果発表：司会：四釜靖之 優勝チーム 飯豊中学校

トロフィー授与：長井JC小関理事長

講評：横山審判長

閉会：司会：四釜靖之

15:35 会場撤収（施錠等確認）

10. 引き継ぎ事項

- ・専門員の先生とは連絡を密にして、話を進めてください。
- ・各学校の顧問の先生とメールや電話で行ってください。
- ・参加申込や要項のやり取りはメールでいいそうです。
- ・参加申込書は当日捺印して持ってきてもらってください。
- ・効率のいい運営、JC側と学校側の役割分担についてもっと検討してください。
- ・試合に出場しない上級生にもなにか役割を与えると新たな成長の場になるのではないかな。
- ・賞状は優勝校だけでよいのではないかな。

11. 各担当者所見

◆副委員長：横澤 吉紀

春に打ち合わせを行い秋に大会を実施と間が空いたせいか大会間際になって気づいた事実などが多々あり反省点の多い大会になってしまった。救いなのは大会当日、先生方の試合での選手起用の意図が見えたこと。ある中学校ではポジションを

変えながらコンバートの適正を図っていた。また連合チームでも全員が試合に出場できるようにとの工夫があった。去年もこの大会にかかわらせていただきましたが去年は気づけなかった子どもたちの交流などに気づくことができました。最後に事業を行う際にどうしても自分が動いてしまうくせがあり副理事長に指摘を度々いただきましたので今後の課題にしたいと思います。

◆担当副理事長：玉橋 恵子

昨年まで春季と秋季の2度開催していた野球大会を今年度は秋季1度のみで開催として実施しました。春季の開催は中体連の前哨戦として貴重な機会となっていたため、廃止の決定は選手や先生方には受け入れがたいことであったと思います。しかし、青年会議所のメンバー数減少や組織体制を考えるとやはりやむを得ない決断であったものと考えます。

当日の運営においては、先生方任せとなってしまった部分が多く、反省すべき点が多々ありましたが、生き生きとプレーする選手や応援する生徒の姿を見ると開催する意義を感じることができました。ご対応いただいた先生方、参加いただいた生徒や保護者の皆様、時間を割いて参加くださったメンバーに感謝申し上げます。

青少年育成交流事業「トレジャーハント逃走中」

1. 事業概要

地域資源である廃校を活用し、ゲーム性を持たせたスポーツ交流事業「トレジャーハント逃走中」を開催する。

昔遊びである「鬼ごっこ」の現代バージョンであり、世間一般に知られている事業であるため、運動が苦手な子どもでも気軽に参加できるものと考えました。

事業実施にあたっては、参加者同士がコミュニケーションを取りながら挑戦できるミッションを設け、昼食は獲得した食材をもとに子ども達が協力してつくるものとししました。

2. 実施日時：10月27日（日） 8:30～15:00

3. 実施場所・会場

川西町交流館あいばる(旧川西町立第二中学校)

4. 事業対象者：西置賜地域の小学校4年生～6年生の児童

5. 参加者募集方法

ポスター、チラシの配布及びホームページ、Facebookへの掲載

6. 決算総額：¥174,670

7. 参加員数：48名

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(14名)

◆外部

参加小学生29名 保健対応 飯澤淳子氏

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

- 7:30 委員会メンバー集合
- 8:00 JCメンバー集合 スケジュール確認・打ち合わせ
- 8:30 参加者集合・会場移動 川のみなと長井～あいばる
- 9:00 会場到着・参加者集合
- 9:12 開会式
- 9:30 会場説明
- 9:52 準備運動
- 10:15 逃走中1回目開始 45分間
- 11:10 1回目終了、結果発表・休憩
- 11:22 昼食調理開始
- 12:12 昼食、片付け・休憩
- 13:30 逃走中2回目開始 30分間
- 14:00 2回目終了
- 14:10 閉会式
- 14:30 バス移動 あいばる～川のみなと長井
- 15:00 解散

10. 引き継ぎ事項

- ・全体的に人手が足りなかったと思われるので協力者等がいた方がよいと思われまます。
- ・この事業は子どもたちだけでなく大人も楽しめる事業なのでしつらえ、会場を変えれば様々な選択肢が生まれると思われまます。

11. 各担当者所見

◆副委員長：横澤 吉紀

この事業は子どもなら一度は経験したいであろう「逃走中」を題材に実施いたしました。自分が子どもだったらまた自分の子どもに参加させるならと考え悩みました。1人の考えだけだと偏りができてしまいそれを置かれている立場の違うメンバーに意見を聞くことにより内容としては満足のいく事業になりました。これも委員会メンバー始めサポートしていただいたメンバーに感謝します。今後の事業に活かせる課題なども見つかりました。ひとを動かすこと、事業の予算の振り分けや助けてくれる仲間たちの存在などとても学びの多い事業になりました。

最後に皆さんのおかげで子どもたちに怪我も離脱もなく事業を終えることができました。ありがとうございました。

◆担当副理事長：玉橋 恵子

事業当日は、初めて会う子ども同士が協力しコミュニケーションを深め、元気に笑い合いながら走り回る姿が見られ、事業の目的を達成することができたと感じます。事故もなく事業を実施できたことに安堵しています。

個人的にも思うように JC 活動ができない状態にあり、その途中で委員長が不在、採択された基金運用もままならずと、四方八方に苦しい状況でした。しかし、横澤副委員長が委員長代理を務めようと尽力し、新入会員の四釜くんが懸命に副委員長をサポートしてくれました。この事業の成功は2人の努力の成

果であり、見守ってくださった樋口議長、委員会外でありながら手助けいただいた齋藤議長のお陰と思います。また、事前の説明会や当日事業に参加くださり、委員会の至らない部分を多々サポートくださったメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

人材育成委員会 事業報告書

●担当専務 船山 裕紀

●委員長 大泉 紀也

●副委員長 梅津 拓郎

●委員 梅津 壮一郎

●委員 小松 祐一郎

委員長所感

今年度、人材育成委員会委員長という大役を仰せつかり、大変貴重な経験の場を与えていただきましたことに感謝申し上げます。今1年間を振り返ると、皆様に様々な場面でご協力いただきましたことを深く御礼申し上げます。今年度の3つの事業のそれぞれで、大変成長させていただきました。また、私自身、至らない点も多く、皆様にご迷惑やご心配をお掛けしましたことも多々ありました。深くお詫び申し上げます。皆様に温かく、時には厳しくご指導いただいたおかげでここまで1年間やり遂げることが出来ました。

委員会内では、メンバーに事業のことについて真剣に考えていただき私が気付かなかった点や出来ないところを一生懸命補っていただきました。メンバーの皆様にはお忙しい中事業に参加・協力していただき、時には臨機応変にご対応いただき事業を後押ししていただきありがとうございました。皆様のバックアップなしではとても1年間やり遂げることは出来ませんでした。

この1年間で得た経験を今後活かしていきたいと思います。これからも、地域に活力を与えられるような人財となれるよう、学び続けていきたいと思っています。

3月例会 行動力向上セミナー

1. 事業概要

人が行動を起こすうえで、否定的な感情は足枷になります。「怒り」は、職場・家庭・学校など人間関係が発生する場面では必ず付いて回る問題です。怒りに飲み込まれることなく、とっさに怒りを抑える方法や怒りを上手に伝える方法などのうまく立ち回れる技術を身につけることで、行動力の向上にとっても役立てることができます。

今回、日本アンガーマネジメント協会より講師をお呼びし、セミナーを開催します。対象を、会員及び会員候補者とし、セミナー受講後には懇親会を開催します。

※アンガーマネジメントとは

1970年代にアメリカで生まれたとされている怒りの感情と上手に付き合うための心理教育、心理トレーニングです。

現在、日本でもアンガーマネジメントの受講者数は年々右肩上がりに増加しており、2017年度は約22万人、統計を取り始めた2012年より6年間で講座や講演、研修を通して述べ約60万人の方が受講しています。

2. 実施日時：2019/3/16(土) 17:00~22:00

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート 2階

4. 事業対象者：会員及び会員候補者、社会福祉協議会、一般

5. 参加者募集方法

チラシ、メンバーによる案内、フェイスブックによる告知

6. 決算総額：¥46,850

7. 参加員数 39名

◆内部

担当委員会：(3名)、その他メンバー：(16名)

◆外部

講師：1名

会員候補者・社会福祉協議会：6名

一般：13名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

9. 実施プログラム

15:30 委員会メンバー集合

17:00 メンバー集合・受付開始

17:14 受付終了

17:15 例会セレモニー開始

17:35 例会セレモニー終了

17:45 セミナー準備開始・一般受付開始

17:59 受付終了

18:00 セミナー開始

18:04 趣旨説明：大泉紀也

- 18:05 齋藤泰徳氏より講演
- 19:25 質疑応答
- 19:35 質疑終了、謝辞・記念品贈呈：梅津直前理事長
- 19:40 閉会アナウンス
- 19:50 解散・撤去作業完了、アンケート回収

10. 引き継ぎ事項

- ・外部参加者を集めるのは早いうちから取り掛かって終わらせるのが良いと思う。そうした方が当日の段取りをもっと詰められたと思う。
- ・外部参加者の方を会場の外で待たせてしまったので、会場へ誘導する係を一人配置しておくべきだった。
- ・パソコンとプロジェクターを接続するHDMIケーブルの長さ、形、を事前に確認しておくべきだと思う。
- ・控室に、講師の方の飲み物とお茶請けを忘れずに準備する。
- ・会員拡大も兼ね外部参加者の募集を行ったが、会員候補者が計画人数まで遠く及ばなかったため常日頃の声がけ、早め早めのスタートを心掛ける。

11. 各担当者所見

◆委員長：大泉 紀也

私としては、青年会議所に入会し委員長として初めて担当させていただきました事業でした。今まで様々な事業に関わらせていただきましたが、今回は自分が委員長ということもあり、今までとは違う形で、多く学ばせていただきました。今回ご参加いただいた方々には、是非今後も引き続きアンガーマネジメントを実践していただき仕事や家庭、子育て、介護など様々な場面で活かしていただければ嬉しく感じます。最後に、事業を行うにあたってお力添えいただきましたメンバーの皆様、大変ありがとうございました。

◆担当副理事長：船山 裕紀

年度末という公私ともにお忙しい中、当事業にご参加をいただきました皆さまに感謝申し上げます。また、当日は多くのメンバーにご協力いただき誠に有難う御座いました。行動力の向上を芯に据え、怒りのコントロールについて多くを学び、事業以降、反射的に怒ってしまうシチュエーションであっても自己対話による冷静な対処を実践出来ており、改めて新たな学びや気づき人財育成に繋がっていくことを実感させていただきました。当日は時間配分等予定通りにいかないこともあり、皆さまにお支えいただいた部分がありましたが、無事成功裏に終わることが出来たかと思えます。有難う御座いました。

次年度理事長の想いをメンバーが共有するための場を創出する手段として、視覚的にも有効なパワーポイントを使用して所信(案)の発表を行っていただいた。

また、新入会員候補者とメンバー、またメンバー相互の交流を深めるために講師の方をお呼びして英会話セミナーを実施した。

- 2. 実施日時：2019年9月19日(木) 19:00~21:30
- 3. 実施場所・会場：長井小学校第一校舎 2F 学び・交流ルーム 2
- 4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー、新入会員候補者
- 5. 参加者募集方法：電子メール、LINE、訪問、電話
- 6. 決算総額：¥15,689
- 7. 参加員数 26名

◆内部

担当委員会：(3名)、その他メンバー：(15名)

◆外部

講師：1名 会員候補者：7名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

9. 実施プログラム

- 18:30 受付
- 19:00 例会セレモニー
- 19:18 開会、趣旨説明
- 19:25 次年度理事長予定者所信発表
- 19:50 会員候補者受付
- 20:05 英会話教室
- 21:00 謝辞
- 21:05 監事講評
- 21:20 撤収
- 21:40 懇親会(交流会)

10. 引き継ぎ事項

- ・外部参加者を集めるのは早いうちから取り掛かって集めるとより良いと思う。
- ・そうした方が当日の段取りをもっと詰められると思う。
- ・外部参加者の受付開始時間をもっと検討しておくべきだった。(もっと遅い時間にすべきだった)
- ・参加者の募集に、色々な企業さんを廻ったが、なかなか人を集められなかった。人集めの点で、専務に大変助けていただいた。

11. 各担当者所見

◆委員長：大泉 紀也

今回、人財育成委員会としては2回目の事業でした。前回の行動力向上セミナーで少し場の雰囲気慣れたところもあったのではないかと思います。今回、場所を選ぶ段階から、長井小

9月例会 次年度理事長候補者所信(案)発表例会

1. 事業概要

次年度理事長候補者の所信(案)発表を行った。今年度、

学校第一校舎ということで、次年度所信発表をはじめ、英会話セミナーでも良い雰囲気の中で事業を開催出来たのではないかと考えています。人を募集する時点でなかなか人が集まらず四苦八苦したところもありましたが専務をはじめ、様々な方にも助けて頂きました。準備に積極的に準備をしてくれた委員会メンバーをはじめ、JCメンバーの皆様にご感謝申し上げます。

◆担当副理事長：船山 裕紀

この度は次年度に私たちが進む方向性を、次年度理事長予定者よりお示しいただく当事業に、多くのメンバーの皆様よりご参加いただけましたこと、誠に有難うございました。これまでの設えとは場所も事業内容も異なり、例年よりも多くのメンバーで事業を行えましたことを感謝申し上げ所感とさせていただきます。

西野亮廣氏講演会

1. 事業概要

お笑い芸人としてのみならず、絵本やビジネス書の執筆、国内最大のオンラインサロンの運営を行っておられる西野亮廣氏を講師に迎え、講演会を行った。働き方について様々な取り組みがなされている昨今、仕事をするにしても、従来のやり方と同じやり方をしている時代に取り残されてしまうことが考えられた。西野氏はこれまでに何度もクラウドファンディングを実施されており、合計支援者数は1万5000人以上、合計支援額は1億円を突破している。常識に捉われない新たな考え方で時代を開き続ける西野氏の講演を聴くことは、人財の成長を促す最良の機会と考えられた。これまでの講演会の参加者には、西野氏のファンのみならず経営者の方も数多く参加しており、例えば満願寺個展など、様々な専門家、プロフェッショナルの方々の力を借りて、これまでになかったエンターテインメント、空間演出等を創り出す姿には、奮起させられるとともに、人と協力してことを為すうえでとても勉強になるものであると考えた。

2. 実施日時：12月12日(木) 18:00~19:30

3. 実施場所・会場：白鷹町文化交流センター あゆむ

4. 事業対象者

長井・西置賜地域の青年経済人、一般参加者、学生

5. 参加者募集方法

各企業や団体、長井・西置賜管内の高校にチラシを配布した。HP、FB等での告知を行った。

6. 決算総額：¥650,876

7. 参加員数 224名

◆内部

担当委員会：(3名)、その他メンバー：(19名)

◆外部

講師・付き添いの方：2名

一般参加者：180名 学生：20名

8. 外部協力団体及び協力種別：

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

9. 実施プログラム

17:00 受付開始
17:10 西野氏が会場着
17:20 西野氏楽屋入り
18:00 講演会開始・簡単な趣旨説明・呼び込み
18:03 講演開始
19:30 講演終了
19:51 講師退出
19:52 アンケート記載・講演会終了
19:53 写真撮影
19:55 サイン会開始
20:10 サイン会終了
20:11 講師誘導
20:15 講師会場出発 *タクシー
20:27 メンバー集合
20:30 懇親会会場へ出発

10. 引き継ぎ事項

- ・事前に、事前説明会等でメンバーに共有しておいた方がもつとスムーズに進んだだろうと思われる点が多くあった。
- ・今、人気のある講師であったこと、また芸能人でもあることなどから、ファンが受付の前に列を作る可能性のあることを考慮しておくべきだった。
- ・講師、そのマネージャーが非常に多忙で講演会前にならないと不明確な部分があったので、直前期は出来る限り事業に注力する。
- ・委員会での準備を早めえに進めておくべき。特に、会場が決まったら、早い段階から会場で打合せをした方が、早いうちからイメージが湧いて良いと思う。(3か月前程度)

11. 各担当者所見

◆委員長：大泉 紀也

人財育成委員会として、今年度最大の事業ということで、早いうちより、船山専務をはじめ、委員会メンバーと委員会を開催しながら進めて参りました。とても大きな事業で、早い段階から緊張感を持ちながら準備して来ました。当日も慌てて対応することなども多くありましたが、メンバーの皆様には、気付いたことを率先して行っていただいたり、お願いした事を快く引き受けてくださったりと、本当にありがとうございました。駐車場班の方々も、大変お寒い中スムーズに車両誘導していただ

き感謝申し上げます。アンケートの回答を見ているだけでも頑張っている良かったと思うことが多々ありました。小関理事長をはじめ船山専務、そして委員会メンバー、JCメンバーの方々に感謝申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。大変ありがとうございました。

◆担当副理事長：船山 裕紀

まず始めにこの度の西野亮廣氏講演会の開催に際し、ご協力いただきましたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。当事業を通して、タレント業だけでなく作家やオンラインサロンオーナーと

してなど多岐にわたる活動をされ、言葉だけでなく自ら第一線で行動しておられる講師のお話をお聞きし、現代社会の変化のスピードの早さに改めて気づかされると共に、一青年経済人として、また、青少年育成に携わる一人として、私たち自身が絶えず勉強しアップデートを繰り返していかなければならないと気持ちを新たにいたしました。最後に当事業を行うにあたり計画当初より走り続けた大泉委員長はじめ委員会メンバーに敬意を表し所感とさせていただきます。

会員拡大特別会議 事業報告書

●担当議長 樋口 和哉

●副議長 齋藤 圭央

議長所感

小関理事長より会員拡大の議長職の任を託されたにもかかわらず、全く期待に応えることが出来ませんでした。全ては私の不徳の致すところであります。満足のいく結果を残せないままJC卒業となってしまいますが、会員拡大は本当に一丸となってやらなければ結果はついてきませんので、しっかりとした計画と行動を心掛けていただければと思います。一年間共に行動していただいた齋藤副議長ありがとうございました。

4月例会 異業種交流会

1. 事業概要

飯豊町のHOTEL SLOW VILLAGEを会場に異業種交流会として入会候補者と親睦を図るとともに情報交換を行いました。

- ・飯豊町役場からの出向を念頭に置き、町の動きや取り組みを紹介していただき情報の共有と今後のかかわり方を考えるきっかけとなりました。役場職員の何名かにお越しいただき今後の青年会議所に対する理解と協力を得るために依頼をした結果2名の参加が得られた。
- ・乾杯後、青年会議所を知ってもらうために近年の事業紹介や今年の動きを紹介し。また、事業紹介後にSDGsに対する取り組みを理事長より紹介してもらいました。

2. 実施日時：4月19日(金) 19時～21時

3. 実施場所・会場：HOTEL SLOW VILLAGE

4. 事業対象者：青年会議所メンバー・会員候補者・飯豊町役場

5. 参加者募集方法：メール・LINE・チラシ

6. 決算総額：¥14,800

7. 参加員数 17名

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(12名)、仮会員：(1名)

◆外部

飯豊町役場2名

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19:00 メンバー集合

19:07 例会セレモニー

19:33 乾杯

20:15 飯豊町役場 取り組み紹介

20:30 青年会議所 事業紹介

20:58 中締め

21:05 完全撤収

10. 引き継ぎ事項

小規模での開催やターゲットを絞った例会事業以外の開催も良いのではないかと思います。

参加者の募集が1番の課題となるので全員での声掛けが必要。

11. 各担当者所見

◆議長：樋口 和哉

会員拡大につなげる方法として全国各地で実施している異業種交流会ですが、今回齋藤副議長が工夫を凝らし良い内容で準備していただきましたが、候補者がいない中での実施となり、担当の長として成果を上げることが出来ず申し訳ない気持ちでいっぱいです。日頃からの拡大活動という種まきをしっかりとしていないからこそ、人も集まらずただの飲み会になってしまった感は否めませんでした。今回の反省を活かし、残り僅かな今年度の拡大活動を行動に移して努めてまいります。参加協力いただきました皆様へ感謝申し上げます、私の所見とさせていただきます。

◆副議長：齋藤 圭央

飯豊町のHOTEL SLOW VILLAGEを会場に行いました今回の事業では、初めて会場に入ったメンバーも多く飯豊町出身者として嬉しく思います。また、多くのメンバーに参加いただき懇親を深められたことに感謝申し上げます。飯豊町役場の2名にも参加いただき、町の取り組みをお聞きすることができたことで、今後飯豊町との関わり方のイメージが湧いたのではないかと思います。入会候補者については参加者を集めることが出来ず力不足を痛感しています。これで終わりではなく今後も会員拡大のために動いていきたいと思っています。

5月例会 SMILE by SPORTS例会

1. 事業概要

スポーツを通じた交流例会を行いリフレッシュを兼ねて親睦を図る内容とした。

バドミントン

- ・選定理由：準備物も少なく、設備が整っている会場であれば簡単に行うことができ、親睦を図るレベルから真剣勝負までやり方次第で様々な遊び方ができる為、事業開催に適していると思い選定した。
- ・ルール：競技規則に基づき行う事とし、細かい規定などもあるためわかりやすい部分を抜粋して行った。基本的には親睦を深めるもので過度な盛り上がり期待して行うものではないことを前提とした。
- ・チームは委員会対抗とし、試合はシングルではなくダブルスで行った。

委員会対抗で4チーム作り、全員試合ができるようにチーム内で選手を決めて試合を行った。

2. 実施日時：5月15日（木）19時～21時20分

3. 実施場所・会場：豊田体育館

4. 事業対象者

青年会議所メンバー・仮会員

5. 参加者募集方法：メール・LINE

6. 決算総額：¥12,406

7. 参加員数 20名

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(17名)

仮会員：(1名)

◆外部：なし

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19:10 例会セレモニー

19:17 準備運動

19:22 競技説明

19:27 デモンストレーション

19:34 始球式

19:39 競技開始

21:10 競技終了

21:15 監事講評

21:20 完全撤収

10. 引き継ぎ事項

スポーツを通じた交流例会はリフレッシュに適しているのは是非取り入れてほしい。

競技によって時間は様々なので、全体的に時間に余裕を持って行う必要がある。

11. 各担当者所見

◆議長：樋口 和哉

別の委員会で予定していた事業が延期となったため、急遽、当会議体が会員交流事業を実施させていただきました。参加対象者は会員のみと限定せず、会員候補者にも参加を募っていたわけですが、結果として会員候補者の参加は叶いませんでしたが、様々な事業や例会が控えている前に多くの会員同士がスポーツを通じて交流出来たことは非常に良かったなと感じました。今後の理想としては、事業立案せずとも、積極的に出来る時間を見つけて様々な形での交流を図っていただけたらなと思います。参加協力していただいた皆様に感謝申し上げます、私の所見とさせていただきます。ありがとうございました。

◆副議長：齋藤 圭央

身体を動かす例会という事で久しぶりの設えとなりましたが、特別ルールを用いたバドミントンは全員が参加でき交流を深めることが出来たものと思います。参加者に関して候補者を募ることが出来ず内部例会になってしまったことが残念ではありましたが、いつもと違う笑顔溢れる例会となり大変満足しています。楽しくJC活動を行う上で必要な内容であると思いますので、手法や開催方法にとらわれず開催してほしいと感じています。参加いただいた皆様ありがとうございました。

納涼パーティーについて

1. 事業概要

JC活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深める貴重な親睦の場となる納涼パーティーを開催しました。会員減少が課題となっているJCにおいて、諸先輩方の経験に基づく貴重なお話を聞くことにより、これからの会員拡大活動に役立つ有意義な機会になると考えます。

また、JC活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深めることで、JCの魅力や楽しさを改めて認識し、今後の活動の活

力となるふれあいの機会とし、参加者全員が楽しめるようなアトラクションを実施しました。

2. 実施日時：2019年8月22日(木)19:30~21:07

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

4. 事業対象者：長井 JCOB、現役メンバー

5. 参加者募集方法：OB：案内文書 現役：案内メール、LINE

6. 決算総額：

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(15名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19:30 開会

19:33 理事長挨拶：理事長 小関幸一君

19:38 長井 JCOB 代表挨拶：飯田武志先輩

19:43 乾杯：直前理事長 梅津壮一郎君

20:05 次年度役員紹介：専務理事候補者 横澤吉紀君

次年度理事長挨拶：理事長候補者 齋藤圭央君

20:20 JCOB より目録贈呈

20:25 新入会員紹介(四釜靖之君)

20:30 アトラクション(格付けチェック4択クイズ)

20:55 終了予定時間アナウンス

21:00 若い我ら：指揮/事務局次長小松雄一君

21:05 中締め・閉会の挨拶：副理事長齋藤憲幸君

21:07 閉会

10. 引き継ぎ事項

- ・開催方法について検討が必要だと思います。
- ・週末や別な日での開催や、時期を変えての開催など方法はあるのではないかと思います。
- ・OBの参加促進のための手立てが必要だと思います。
- ・募集に関してこれまでOB会内で動いてゴルフの参加者を募っていた経緯があり、ゴルフに参加しないと納涼にも参加が見込めないのが、今後個別に声をかけるなどの対応も必要になると思う。

11. 各担当者所見

◆担当副議長：齋藤 圭央

事業開催にあたり OBの方々からたくさんの経験談や考えを聞くことができ、有意義な機会であったと感じています。皆様の御協力により無事に開催できましたことにまずは感謝申し上げます。声掛けや参加を促す工夫が足りなかったこともあり、OBの方々の参加が少なく少し寂しい気持ちもありました。参加者の固定化や減少は毎年の課題としてありましたが変革できず後悔が残ります。次年度以降もこの反省を活かし様々な事業

に反映していきたいと思っております。皆様の御協力に感謝申し上げます。私の所見とさせていただきます。

◆担当議長：樋口 和哉

OBの皆様と現役が会して懇親を深めることを目的とした納涼パーティーを開催し、当日は滞りなく進行することが出来たと運営側のひとりとして感じたところです。限られた時間の中でしたが、今年度の事や様々な話を含めて交流が図れたのではないかと思います。しかしながら、OBの方々の参加率が上がらないのは数年来からのことですが、ひとりでも多くの方を巻き込んで出席していただけるような工夫が必要でありましたし、今年度も払拭することが出来なかったのは心苦しいところであるとともに、次年度以降の課題だと感じました。お忙しい中、参加いただきました皆様に感謝申し上げます、私の所見といたします。

会員拡大運動について

1. 事業概要

会員拡大目標

【6名以上の新規入会】 【新規正会員入会状況結果】

6月までに3名(4月開催事業を経て) 0名

9月までに2名(各事業を通しての成果を経て) 1名

12月まで1名(年間を通して) 0名

※人数はあくまでも目安であり、上限を超えても会員拡大は継続して行うものとなりました。

JCパンフレットを作成し、年間を通して会員拡大運動に使用しました。

(会員数の推移を実施までのスケジュールに添付)

【会員拡大ツール】

過去の取り組みや活動内容等がわかるパンフレットを作成し、拡大ツールとして活用しました。

【異業種交流会】

5月開催 飯豊町開催予定→4月に変更して開催。

6月開催 小国町開催予定→実施せず。

7月開催 白鷹町開催予定→実施せず。

4月例会をきっかけに前半に拡大を行い、後半の事業に協力いただける方や入会に結びつく候補者を取り込む。(4月では遅い。前年度の8月頃から次年度へ向けて動き出すのが理想。)メンバーも新しい知識や考えを吸収し、会員拡大だけでなく自己成長の場としての交流会とした。

事前に現状を知る機会やどのように取り組んでいくべきかを共有する場を設ける。(例会前や理事会等)(実施せず。)

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場：西置賜全域

4. 事業対象者：長井青年会議所全メンバー、
入会候補者その他管轄エリア内の全ての団体や企業
5. 参加者募集方法：電話やメール、LINE等のSNS、
依頼書等のFAXチラシ等の掲示物
6. 決算総額：¥14,250.
7. 参加員数（4月例会）

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(12名)

◆外部

入会候補者：1名、飯豊町役場：2名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

9. 実施プログラム

【異業種交流会】4月例会

- 1、例会セレモニー
 - 2、理事長挨拶 小関理事長
 - 3、異業種交流会開始 飯豊町役場による町及び事業の紹介
 - 4、乾杯 梅津直前理事長
 - 5、自己紹介
 - 6、近年のJC事業の紹介、今後の事業の紹介
 - 7、中締め
 - 8、閉会
10. 引き継ぎ事項

【計画】

- ・このまま新入会員を迎え入れることが出来なければ創立60周年の頃には会員数は4名のみになってしまうので、全員が長期ビジョンを共有し行動すること。60周年には〇名、65周年には〇名という目標人数の設定を掲げる。
- ・なぜ拡大が必要なのか、拡大の重要性和意義を理事長からメンバーへ理解していただく機会をつくる。
- ・前年度の後半あたりから次年度の拡大に向けた準備をすること。

(例)日本シニア拡大担当講師の講演を依頼する。拡大に成功しているLOMの話聞く。年間行動計画書の作成等。

【行動】

- ・ブロック協議会の拡大担当委員会の協力を得て勧誘活動を試みる。
- ・自らしっかりと説明出来るように、長井青年会議所の共通認識をもつ。下記、酒田JCより抜粋(4例)

(例)長井JCを一文で説明してみよう。「長井JCとは公益の精神を重んじ、何事にも妥協する事なく果敢に挑戦していく団体です。」

(例)JCの良さを3つくらい説明できるようにする。

(例)JCに入会したらどうなれるかを説明できるようにする。

(例)入会後お金はどのくらいかかるのか、時間をどれ位使うのか明確に答えられるようにする。

- ・それぞれの役割を明確にして組織立てて勧誘活動をする。
- ・説明にあたり、企業に対してのメリットを説明できるようにしておくことが重要。
- ・成功しているLOMのやり方を真似てみる。

【その他】

- ・危機感をもって本気で取り組まないと規模は小さくなるばかりでやりたいことも出来なくなる(金銭的部分、人的部分)
- ・長井青年会議所の年会費は他のLOMに比べて2~3万ほど安い。見せ方の違いはあるが欠点ではない。
- ・これまでのリストも大事だが、新しく1からリストを作成することで拡大の意識を高めることができる。
- ・行動に移さなければ次への課題や反省点も見えてこないの、対象者への訪問回数を重ねて一丸となって取り組む。

11. 各担当者所見

◆副議長：齋藤 圭央

年初に掲げた目的に対し、思うように成果を上げることができず力不足を痛感しています。今年はアクション17委員会へ参加し情報交換を行ってまいりましたが、やはり年初のスタートが肝心であることに改めて気付かされました。事業と違い1年間常に会員拡大を考える必要があり、気概と覚悟が足りなかったものと思います。1年間で学んだこと、反省点をしっかりと次年度に活かせるようにこれからも活動して参ります。1年間ご協力ありがとうございました。

◆担当議長：樋口 和哉

小関理事長はじめ、メンバーの皆様、当会議体の一年間の活動に対しまして様々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。結果としては掲げた目標からかけ離れたものとなり、拡大の長としての職務を全うすることが出来ず皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。今回の反省点を長井青年会議所の次年度以降のより良い会員拡大運動に活かしていただき、ひとりでも多くの新しい仲間を迎え入れることにつながることを御祈念申し上げます。ありがとうございます。

ありがとうございました。

事務局 事業報告書

●専務 船山 裕紀

●事務局長 小林 和正

●事務局次長 小松 雄一

委員長所感

本年事務局長という役職に携わらせて頂きまして、JCに入会してから一番JCに時間を費やした一年でした。事務局の仕事量の多さ、事業に表れない担いなどが数多くあることを改めて認識させられました。その中でも船山専務や小松次長が能動的に動いて頂いたおかげで業務をこなすことが出来ましたし、また事務局経験者や小関理事長にも相談に乗って頂き滞りなく進めることが出来ました。優先順位を決め取捨選択し、物事を進める力がさらについたと実感しております。基本方針でも触れていましたメンバーとコミュニケーションをとり円滑な運営を行う様努力していましたが、個人的にはもう少し頑張れたのではないかと感じています。この課題についてはこれからさらに考え実践していければと思います。一年間本当にありがとうございました。

新春賀詞交歓会

1. 事業概要

新年を迎えるにあたり、新体制による54年目のスタートを切る年頭はとても重要な意味を持つものであると思います。長井青年会議所の一員としてどのような運動をどのような思いを持って行うのかをしっかりと理解し、個々の意識を高めて臨むことが求められます。また、これまでの運動に対しご理解とご協力をいただいていた活動エリアの行政関係者や各種団体、諸先輩方に感謝するとともに、新体制で臨む2019年度の運動を発信し、より良い関係性を保ち続けることが必要であると考えました。

1年が始まるこの時期にこそ、上記の点に留意した場を創出することが必要でした。同時にメンバー全員が参加者との繋がりを深め、新たな繋がりを築きながら今後の活動に邁進していくことが求められます。

2. 実施日時：2019年1月15日（火） 18：30～20：51

3. 実施場所・会場：はぎ苑

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー・行政関係者・

まちづくりに寄与している関係諸団体・長井青年会議所OB

5. 参加者募集方法：招待者リストを作成し、招待状を発送した。

OB会には郵送で招待状を送付、FAXで返信いただいた。

6. 決算総額：¥23,397

7. 参加員数

◆内部 担当委員会：(3名)、その他メンバー：(16名)

◆外部

来賓：14名 長井JCCOB：16名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人長井青年会議所

9. 実施プログラム

予定 実施

18:00 18:00 受け付け開始 司会 事務局次長 小松雄一君

18:30 18:30 開会の挨拶 直前理事長 梅津壮一郎君

18:31 18:32 国歌斉唱

18:33 18:34 JCソング斉唱

18:35 18:35 JCIクリード唱和

まちづくり委員会副委員長 小笠原昭夫君

18:36 18:36 JCIミッション並びにJCIヴィジョン唱和

ひとづくり委員会副委員長 横澤吉紀君

18:37 18:37 JC宣言文朗読並びに綱領唱和

人財育成委員会副委員長 梅津拓郎君

18:39 18:38 東北JC宣言文唱和 副議長 齋藤圭央君

18:39 日本ならびにLOMスローガンアファメーション

事務局長 小林和正

18:45 18:40 理事長挨拶 理事長 小関幸一君

18:50 18:47 来賓紹介 専務理事 船山裕紀君

18:53 18:51 来賓祝辞 長井市副市長 遠藤健司様

長井JCCOB 会会長 大竹薫様

19:04 祝電披露 司会

19:03 19:04 2019年度理事役員の紹介

19:13 19:07 2019年度基本方針、事業計画発表

各委員会の担当副理事長、議長、専務理事により発表
スクリーンを使用し発表する。各3分で計12分
資料は各委員会で作成。

まちづくり委員会は副理事長欠席により委員長

会場移動※司会が案内◇宴席を新館の別室のスペースで実施

19:30 19:26 鏡開き 鏡開き登壇者

乾杯 小関 秀一様

20:00 20:13 新入会員紹介 専務理事 船山裕紀君

新入会員

20:30 20:48 中締め 飯田 武志様

20:35 20:51 閉会の挨拶 議長 樋口和哉君

アンケート

10. 引き継ぎ事項

- ・参加費や胸章等の管理はリストにするなどしっかり管理してください
- ・来賓で最後まで参加せず退席される方もいらっしゃるの
でしっかり把握し管理すること
- ・名前の読み方は事前にしっかり確認すること
- ・式典等のマナーを事前に確認すること
- ・アンケートの回収については期限をはっきり設けるなど対策
が必要
- ・来賓とメンバーが触れ合うことが出来るよう説明と配慮をお
願います
- ・理事メンバーが当日欠席することのない様、呼びかけを強化
すること
- ・来賓の方に依頼事項ある時は受付にも情報共有しっかり確認
すること

11. 各担当者所見

◆委員長

この度の賀詞交歓会では多くのメンバーの方にご参加頂きま
して誠にありがとうございます。来賓の方が多く参加頂くこの
事業において多くのメンバーでお出迎えするという事は、会
の体制や意識を見て理解して頂くことまたは今後拡大を行っ
ていくうえでも非常に重要であると考えます。来賓の方とも多
くの方が積極的にコミュニケーションをとっており有意義な時
間を創れたのではないかと思います。ご協力頂きました皆様に
感謝を申し上げ私の所見とさせていただきます。

◆担当副理事長

まずはじめに、年始という公私共にお忙しい中、当事業にご臨
席を賜りました来賓の皆様にご挨拶申し上げます。また、当日は
数多くのメンバーにご参加そしてご協力頂き誠にありがとう
ございました。2019年度最初の事業であり、私達青年会議所が
1年を通してどのような運動を展開していくのかをお知らせす
る大変貴重な場として無事成功裏に追えることが出来たかと
思います。しかしながら、クリードの朗読やミッション・ヴィ
ジョンの唱和など本来最も大切にすべきところが曖昧になっ
てしまうなど引き締まらない所も多々ありました。会の根幹と
なる大切な部分ですので、今一度会全体としてしっかりと取り
組んでいくことをお願い申し上げます。ありがとうございました。

12月例会卒業式2019

1. 事業概要

卒業生のこれまでの活動の功績を讃え、感謝の意を表し、記念
品の贈呈と今後の更なる飛躍を祈念する。

2. 実施日時：2019年12月20日(金)18時30分～19時55分

3. 実施場所・会場：中央会館

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：メール、LINE、電話

6. 決算総額：¥66,770

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(19名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

18:30 例会セレモニー

18:48 卒業生入場

18:48 卒業式開始

卒業生 PV 上映

(1) 開式の辞 齋藤副理事長

(2) 卒業証書授与

(3) 理事長式辞

(4) 卒業生挨拶

(5) 閉式の辞 玉橋副理事長

19:55 例会セレモニー (監事講評)、卒業式終了

20:10 卒業生を祝う会 開始

(1) 開会

(2) 理事長挨拶

(3) 乾杯 梅津直前

(4) 歓談

(5) 花束贈呈

(6) メンバーからのラストメッセージ 出席した全メンバー

(7) 中締め 齋藤副議長

(8) 閉会

22:30 卒業生を祝う会 終了

10. 引き継ぎ事項

- ・開催時期は12月を検討すること。全事業終了後の最後の事
業であることが最良と感じる。但し12月後半は報告の関係
できつい。
- ・開催日時は早い段階で卒業生に確認し、メンバーが集まりや
すい日程に設定すること。
- ・式典を厳粛な形とするか、気楽な雰囲気とするかは卒業
生の希望を聞いて検討すること。
- ・卒業生の答辞は7分では足りなかったため、ひとり15分は
見た方がよい。卒業生の人数によって事業の開始時間を見直
すこと。
- ・卒業記念品の注文は、注文から発送までに約1カ月半かかる
ため、早めに行うこと。

・卒業生に対する想いをしっかり持って計画すること。

11. 各担当者所見

◆事務局長：小林 和正

まずは今回の卒業式にご参加頂きました長井青年会議所メンバーの皆様へ感謝申し上げます。皆様ひとりひとりが想いを持って臨んで頂いたお陰で素晴らしい式になったと感じています。例年に比べ会費も倍以上で、全ての人が登壇し発言する機会があることを事前にお伝えしており、参加することに高いハードルがあったにもかかわらず、今年の例会事業のなかで一番の参加人数を達成することができました。私が想定していた以上の皆様のスピーチ、素晴らしい料理、進行に対する能動的なサポートによって卒業生の皆様にも感動して頂けたのではないかと考えております。相手を想い行動することは素晴らしい事業につながると思います。今後の事業にも生かして頂ければ幸いです。改めまして参加したメンバーの皆様、中央会館の皆様、お花お送り頂きました皆様本当にありがとうございました。所見とさせていただきます。

◆専務：船山 裕紀

初めに、卒業式にご参加いただきましたメンバーの皆様、そして5名の卒業生の皆様へ感謝申し上げます。最後にと卒業生の皆様には例会セレモニーをご担当いただき、私たちのあるべき姿を壇上でお示しいただきました。例会を通して、明るく豊かな社会の実現に向けひたむきにご尽力されてこられた皆様の周りには自然と、小さくても強く明るいコミュニティーが出来ていたように感じました。在会生の私たちも先輩方の姿を目に焼き付け、一步一步着実に歩みを進めることをお約束し所見とさせていただきます。有難うございました。

ホームページ運営

1. 事業概要

ホームページ及び Facebook ページ閲覧者への正確な情報の発信を、各委員会と連携し運営する。

2018年度のページをベースとし改良を加え、以下の修正を行う。

- ①他団体とのリンクをバナーでつける。
- ②ホームページ更新方法、Facebook の活用、個人情報の取り扱い・顔写真等の配慮に関するマニュアルについて理事と各委員会担当者を対象に講習会等を行う。
- ③不適正な個人情報の使用が無いよう管理をする。

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場：クロスバ mon mon mon

4. 事業対象者：講習会：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：講習会：メール配信

6. 決算総額：¥0

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(20名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

2月18日(月)

各委員会の担当者対象にホームページ、Facebook に関する講習会を実施。

出席者：小関幸一、小林和正、齋藤圭大、丸山昂
大泉紀也、横澤吉紀、小松雄一

1月総会后

2019年度HPページ開設〈トップページ変更、理事長所信・組織図・事業報告書・事業計画書変更〉

随時、各委員会・会議体・事務局より事業の案内・報告を掲載した。

10. 引き継ぎ事項

各委員会の担当者が中心となり、告知・報告を含め情報発信に取り組むこと。

レポートの専門用語を理解することで、HP運営にやりがいやノウハウの蓄積や応用ができる。

事務局からの对外情報発信について検討してください。

11. 各担当者所見

◆事務局長：小林 和正

この度、ホームページ・facebook運営を通して、各委員会・会議体にて担当者の方に講習会から通年での情報発信頂きましたこと感謝したいと思います。初めのころはHPの更新頻度を上げるようお知らせしていたが次第に更新頻度が少なくなってしまうことが課題です。スマートフォン等で簡単に情報が取れる時代だからこそ、正確な情報を適時に発信していく必要があると思います。

◆専務理事：船山 裕紀

1年間を通し長井青年会議所のホームページ運営にご協力いただき、誠に有難うございました。

近年、様々種類のSNSが台頭し、情報のアウトプットをどこに置くのか、どうやったら社会に声が届くのかを日々考え、模索しながらの運営となりました。社会は今後更に加速度的に変化していきます。ホームページがあれば良い時代は10年前に終わり、どう活かすのかを考える時代も終わりました。個人個人がメディアを持つ今、情報発信について、私たちは率先して学び続ける必要があります。空気を吸うように学びましょう。

【出 向 報 告】

東北地区協議会東北ゼミナール委員会

委員 齋藤 憲幸

出向報告

今年度、東北地区協議会東北ゼミナール委員会に出向させていただき、ありがとうございました。熱い想いを秘めた、ふるさとのため活動する東北各地の JAYCEE とともに JC の在り方について学び、地域の魅力を調べ、広めるための力を磨き、地域経済ビジョンの策定、東北青年フォーラムのメインフォーラムの設営を通し、JAYCEE として成長することが出来ました。志高く JC 運動を行って様々な経験をしてきたメンバーが多く、まさに「人は人で磨かれる」を体験出来るとても貴重な一年でした。参加すればするほど友情が深まり、成長することが出来る委員会なので、今後ゼミナール委員会に出向する方は、頑張っって参加してほしいと思います。

最後に、学び多い委員会に出向させていただいた小関理事長、快く送り出してくれたメンバーの皆様ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
2月 9日 (土)	開講式	宮城県仙台市 仙台迎賓館 齋苑
4月 13日 (土)	第二講座	岩手県盛岡市 岩手県産業会館
14日 (日)	〃	
6月 8日 (土)	第四講座	山形県南陽市 南陽市赤湯公民館
9日 (日)	〃	
7月 13日 (土)	第五講座	青森県八戸市 デーリー東北ホール
14日 (日)	〃	6階メディアホール中会議室
9月 6日 (金)	リハーサル	秋田県能代市 能代市文化会館
7日 (土)	メインフォーラム	秋田県能代市 能代市文化会館
8日 (日)	閉講式	秋田県能代市 能代市文化会館

東北地区協議会 ゼミナール委員会

委員 船山 裕紀

出向報告

本年度、東北地区協議会ゼミナール委員会に委員として出向させていただきました。東北各地から集まる志の高い仲間との出会いは刺激的でした。今後の J C 活動へ繋げていきたいと思っています。この機会を賜りました皆様に感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
2月 9日	開校式	仙台市 仙台迎賓館 齋苑
9月 7日	東北青年フォーラム	能代市 能代市文化会館

出向報告

今年度、山形ブロック協議会副会長として、長井青年会議所より出向させて頂きました。担当したやまがた連携運動推進委員会では、各 LOM、日本 JC、外部団体と連携し、JC カップ U-11 少年少女サッカー大会、骨髄バンクを支援するやまがたの会との協働運動、社会保障を考える地域に即した社会保障制度と地域のあり方を考える事業、山形県インフラ推進署名活動、防災・減災担当と、非常に職務の多い委員会でした。

米沢 J C より出向された情野委員長をはじめ県内各地の委員会メンバーに恵まれ、充実した委員会活動であったと感じます。当 LOM からは齋藤圭央君が副委員長として、小笠原昭夫君が幹事として委員会に出向いただき、物心両面に渡り力強くお支えをいただきました。また事務局補佐として出向いただいた丸山昂君には、事務方として山形ブロック協議会の運動を支えて頂きました。

このようにして多くの出会いに恵まれ、様々な方々に支えられて過ごした一年間は、私自身に大きな学びと気づきを与えてくれました。前年、LOM 理事長の後、JC ラストイヤーの年にこのような貴重な経験が出来たことを非常にうれしく思います。当初、副会長という重責に引き受けて良いものか悩みましたが、必死に挑み副会長という大役をやり遂げることができましたのは、小関理事長はじめ LOM メンバー皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。1 年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
2018年		
9月18日	正副会長候補者会議	山形市
10月 9日	第1回正副会長候補者会議・役員候補者会議	高島町
10月19日	第2回正副会長候補者会議・役員候補者会議	山形市
10月28日	第1回会員会議所候補者会議	山形市
11月 7日	第3回正副会長候補者会議・役員候補者会議	山形市
11月12日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
11月13日	第4回正副会長候補者会議・役員候補者会議	山形市
11月23日	第2回会員会議所候補者会議	鶴岡市
12月11日	JC カップ U-11 少年少女サッカー大会 打ち合わせ	河北町
12月13日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
12月26日	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会	山形市
2019年		
1月16日	第1回正副会長ミーティング・役員会議	米沢市
1月19日	京都会議	京都市
1月22日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
1月24日	公益社団法人山形青年会議所 新春祝賀会	山形市
1月26日	第1回会員会議所会議	山形市
1月26日	山形ブロック協議会 新春交歓会	山形市
1月28日	第1回委員会	山形市
1月28日	第2回委員会	南陽市
2月 2日	山形ブロック協議会公開委員会 SDGs の理解を深めるセミナー	山形市
2月 8日	第1エリア会長公式訪問	鶴岡市

2月 8日	第2回正副会長ミーティング・役員会議	鶴岡市
2月13日	第4エリア会長公式訪問	長井市
2月18日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
2月19日	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会	山形市
2月21日	第2回正副会長ミーティング・役員会議	長井市
2月26日	第2エリア会長公式訪問	村山市
3月 8日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 打ち合わせ	山形市
3月12日	第3回正副会長ミーティング・役員会議	山辺町
3月12日	第3エリア会長公式訪問	山形市
3月13日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
3月19日	第3回委員会	米沢市
3月22日	第3回会員会議所会議	東京都
4月 1日	やまがたブロック大会 全体会議	天童市
4月 2日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
4月 6日	第4回委員会	長井市
4月16日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
4月17日	第4回正副会長ミーティング・役員会議	酒田市
4月22日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	天童市
4月20日	第5回委員会	長井市
4月23日	第6回委員会	南陽市
4月26日	第4回会員会議所会議	上山市
4月26日	山形ブロック協議会2019年度「やまがた防災連携運動」	上山市
5月 8日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 打ち合わせ	山形市
5月10日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
5月16日	第5回正副会長ミーティング・役員会議	山形市
5月17日	第7回委員会	山形市
5月18日	2019 全国骨髄バンクボランティアの集い in 山形	天童市
5月19日	全国骨髄バンク推進連絡協議会 総会	天童市
5月20日	第8回委員会	山形市
5月30日	第5回会員会議所会議	高島町
6月 7日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 総会	山形市
6月11日	日本 JC 会頭公式訪問	山形市
6月12日	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会	山形市
6月19日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 打ち合わせ	山形市
6月22日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 山形大会予選リーグ	東根市
6月23日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 山形大会決勝 TM	東根市
6月26日	第6回正副会長ミーティング・役員会議	河北町
6月28日	第9回委員会	東根市
6月29日	山辺青年会議所 45周年記念式典・祝賀会	山辺町
7月 5日	第6回会員会議所会議	鶴岡市
7月 6日	第52回山形ブロック会員大会鶴岡大会	鶴岡市
7月29日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
8月16日	第10回委員会	米沢市

8月23日	臨時会員会議所会議	山形市
8月31日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 全国大会予選リーグ	大阪府
9月1日	JC カップU-11 少年少女サッカー大会 全国大会決勝 TM	大阪府
9月7日	東北青年フォーラム	秋田県
9月13日	骨髄バンクを支援するやまがたの会 運営委員会	山形市
9月18日	第7回正副会長ミーティング・役員会議	天童市
9月22日	新庄青年会議所 55周年記念式典・祝賀会	新庄市
9月26日	村山・置賜地域合同災害ボランティアセンター運営研修会	米沢市
9月27日	第7回会員会議所会議	村山市
10月8日	第8回正副会長ミーティング・役員会議	東根市
10月11日	全国大会富山大会 ～13日	富山市
10月17日	山形ブロック協議会 内部監査	山形市
10月18日	台風19号被災地支援活動	川西町
10月19日	第8回会員会議所会議	鶴岡市
10月26日	第11回委員会・委員会活動（インフラ署名活動）	米沢市
11月4日	台風19号被災地支援活動	丸森町
11月7日	山形ブロック協議会 内部監査	山形市
11月13日	第9回正副会長ミーティング・役員会議	南陽市
11月17日	第12回委員会・委員会活動（インフラ署名活動）	三川町
11月24日	第9回会員会議所会議・卒業式	山形市
12月18日	役員会議	山形市
12月28日	第13回委員会	山形市

やまがた連携運動推進委員会
副委員長 齋藤 圭央

出向報告

これまで委員という立場での出向しかありませんでしたが、2019年は副委員長という役職でやまがた連携運動推進会議に出向をさせていただきました。有事の際にブロックや県内各LOMが連携して対応できるようにと開かれたやまがた防災連携運動。骨髄バンクの普及と認知に向けて支援を行う2020骨髄バンクボランティアの集い in 山形の開催。子どもたちの健全育成と道徳心を育むためのJCカップU-11少年少女サッカー山形予選大会の開催。そしてブロック大会での社会保障制度の正しい知識を学ぶクイズラリーやインフラ署名活動など、多くの事業の中で気付きや学びを得ることができたと感じています。委員会メンバーや県内青年会議所メンバーと多くの時間を過ごし経験させていただいたことを今後LOMの活動に活かせるよう努めて参りたいと思います。理事長をはじめ機会を頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げ報告とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
1月26日(土)	第1回委員会	山形 山形テルサ
1月28日(月)	打ち合わせ	南陽 三陽製作所
4月6日(土)	第2回委員会	長井 JC ルーム
4月24日(土)	第3回委員会	南陽 JC 会館

4月26日(月)	山形防災連携運動	上山 商工会館
5月10日(金)	骨髄バンク打ち合わせ	山形 霞城セントラル 23 階
5月17日(金)	骨髄バンク打ち合わせ	天童 天童ホテル
5月18日(土)	2019 全国骨髄バンク ボランティアの集い in 山形	天童 天童ホテル
6月22日(土)	第5回 JC カップ U-11 少年少女サッカー大会	東根市中央運動公園
6月28日(金)	第4回委員会	東根 JC ルーム
7月 6日(土)	山形ブロック協議会 ブロック大会鶴岡大会	
8月16日(金)	第5回委員会	米沢 JC ルーム
10月26日(土)	インフラ署名活動	米沢 道の駅米沢
12月28日(土)	離散会	山形 なごみ処一縁

山形ブロック協議会やまがた連携運動推進委員会
幹事 小笠原 昭夫

出向報告

JC 二年目にして委員会の役職を割り振られ、緊張・初めての不安など多々ありましたが、諸先輩方の助けと自分自身に出来る範囲から取り組む事で無事こなす事が出来ました。

JC 経験の浅さなど不安材料があっても己に出来ることは何か・事業内容の中で自分が力になれる事はあるのか、を考えて、個の力を全体の発展に活かす。という事を学べたのは得難い経験となりました。

出向先活動開催日

内容

場所

4月26日	やまがた防災連携運動	山形県上山市新湯 1-33 月岡ホテル
5月18日	骨髄バンクボランティア事業	山形県天童市鎌田本町 2 丁目 1-3 天童ホテル
6月22日	JC カップ U-11 サッカー山形県予選大会	東根市中央運動公園
7月 6日	ブロック大会鶴岡	山形県鶴岡市馬場町 11-61 荘銀タクト鶴岡

山形ブロック協議会 やまがた創生委員会
委員 小松 雄一

出向報告

この度出向させて頂きました、やまがた創生委員会の主な事業としては、ブロック大会でのメインフォーラムの開催、参院選公開討論会の開催が大きな事業としてありました。メインフォーラムでは SDGS と若者の雇用促進をテーマとし、若い世代に集まってもらうため若者に人気のあるタレントをゲストとし、多くの集客を実現することができました。委員長を中心として各 LOM の出向者が協力しあいながら事業成功のために行動していくことで自分にとっても大変貴重な経験をさせて頂いたと思います。この経験を今後の成長につなげていきたいと思っています。

出向先活動開催日	内容	場所
2月 2日	公開委員会	山形市霞城公民館
3月14日	委員会	村山市旬彩酒房桜坂
4月10日	新庄 JC 公開討論会支援	大蔵村中央公民館
4月19日	委員会	山形 JC ルーム
5月22日	委員会	上山市味処松乃家
6月 5日	委員会	鶴岡市魚亭岡ざき
6月15日	参院選公開討論会	山形市山形ビックウィング
7月 6日	鶴岡ブロック大会 メインフォーラム	鶴岡市荘銀タクト鶴岡

やまがたアクション17委員会
委員 樋口 和哉

出向報告

私が出向させていただきましたやまがたアクション17委員会は、主に三つの事業を展開させていただきました。まずは、年間通して行った会員拡大活動です。1月に行った拡大セミナーに始まり、県内17LOMに対しての拡大活動をバックアップする体制を4エリアに分けて組織し、定期的な戦略会議を開催して情報共有を図り組織的な会員拡大を一致協力して推進してまいりました。結果としてはLOM毎に設定した目標人数に届いたLOMは僅かでしたが、拡大活動は青年会議所が続く限りやらなければいけない尊い運動ですので、今後も更に力を入れてブロック協議会と各地会員会議所が手を携えて邁進していくことが肝要だと強く思います。2つ目はブロック協議会と各LOMの協調関係を構築するために、県内各地で同じ職業に就く会員同士の絆を深める同業種交流会を実施し、多くの会員がLOMの垣根を超えた交流を深めることが出来ました。「また開催してほしい。」との嬉しいお声も多数頂戴しましたので、次年度以降も実施する場合は内容も含め、さらに磨きをかけて事業構築をしていただけたらと思います。

3つ目は、各LOMが他団体に先駆けた事業を行って地域を牽引していくために、必要で優れた事業を分析し、それらを評価して各LOMがこれからの事業に役立てることが出来るJCアワードを開催しました。非常に魅力的な事業ばかりでJCの新たな可能性を感じる事が出来ました。

最後に、私自身これまで8回出向させていただきましたが、他LOMメンバーとの出会い、活動を共にした日々が何よりの財産となりました。

出向の機会を与えてくださった小関理事長に感謝致しますとともに御協力いただきました皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
1月 9日	第1回拡大戦略会議委員会	鶴岡市
1月26日	第1回拡大セミナー	山形市
2月 5日	第1回第4エリア会議	南陽市
2月25日	第2回拡大戦略会議	山形市
3月 8日	第2回第4エリア会議	長井市
3月28日	第3回拡大戦略会議	酒田市
5月28日	第3回第4エリア会議	米沢市

6月 7日	第4回拡大戦略会議	鶴岡市
7月 6日	山形ブロック大会鶴岡大会 拡大フォーラム	鶴岡市
7月30日	第5回拡大戦略会議	酒田市
10月24日	第4回第4エリア会議	高島町
10月30日	同業種交流会	山形市
11月24日	JCアワード表彰式	山形市

アカデミー委員会
委員 横澤 吉紀

出向報告

アカデミーに出向させていただいて、JCを学び、かけがえのない友に接することができました。積極的に活動する友をみてそれを刺激にして一年間を有意義に過ごせたと思います。この一年間で自分という存在の課題なども数多く認識する機会もいただきました。これを今後の活動の糧とし、LOMの皆様に刺激となるよう努めたいと思います。

最後にこのような機会をくださった小関理事長を始めLOMの皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
1月26日	開校式	山形市
1月26日	第一回プログラム	山形市
4月13日	前日懇親会	天童市
4月14日	第二回プログラム	天童市
5月22日	第四エリア会議	南陽市
6月11日	第三回プログラム第一部	山形市
6月27日	第四エリア会議	米沢市
7月 2日	第四エリア打ち合わせ	南陽市
7月 6日	第三回プログラム第二部	鶴岡市
8月29日	ブロック大会打ち上げ	長井市
10月23日	第四回プログラム	鶴岡市
12月17日	アカデミー打ち上げ	新庄市

山形ブロック協議会アカデミー委員会
委員 牛澤 栄一

出向報告

私がアカデミー委員会に出向するにあたり、自分の成長と青年会議所とは何かを知るきっかけになると思い活動してきました。その中でも、第二回プログラムの「自地域に活かせる見識と能動的に動く力」は特に印象が強く、これからの戦略として最先端な事だけではなく、地域資源をどう現代と組み合わせ新しい価値を創造していくかを深く学ばされました。LOMを超えて出会

えた役員、そして県内アカデミーメンバーと一緒に学べたことが私の宝物です。この委員会ではないで頂いたご縁をこれからも大切に、未来を牽引していけるリーダーとして成長できるよう前進していきたいと思ひます。

出向先活動開催日	内容	場所
1月26日(土)	開講式 第1回アカデミープログラム	食糧会館
1月26日(土)	アカデミーナイト	カラオケバル
4月14日(日)	第2回アカデミープログラム	ほほえみの宿滝の湯
5月22日(水)	エリア会議	南陽 JC ルーム
6月 6日(木)	エリア会議	旅館エビスヤ
6月11日(火)	第3回アカデミープログラム 第一部	パレスグランデール
7月 4日(木)	ブース出展での調理	宮内公民館

アカデミー委員会
委員 加藤 渉

出向報告

今回アカデミー委員会に出向させて頂いたにも関わらず、1回も出席することが叶いませんでした。したがって出向に際しては何もお伝えすることが出来ませんが、出向にあたって負担金が発生していることなどを考えるとメンバーの皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後受けたものに対する責任感を感じて行動することをお約束しまして所感とさせていただきます。

山形ブロック協議会
ブロック大会運営委員会 井上 典嗣

出向報告

今年度、ブロック大会運営委員会に出向させて頂きました。山形ブロック協議会最大の運動発信の場であるブロック大会の全体部会という主に広報関係等の担いがある部会に委員として配属されました。ブロック大会当日は早朝より駐車場係という素晴らしい修練の機会をいただき大変喜ばしい思い出となりました。

今回の出向では委員会開催自体が少なく、議案書を見せていただく機会もありませんでしたので物足りなさも感じましたが、活動の中で様々なことを学ばせて頂きました。私は今年度をもって卒業となりますが、残されたメンバーの皆さんには積極的に出向し、LOM だけでは経験できない多くの学びを得てほしいと思ひます。

最後になりますが、出向という貴重な機会を与えてくださいました小関理事長はじめ、LOM のメンバーに感謝申し上げ、出向報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
1月18日	第1回委員会	山形市 山形テルサ
3月14日	第1回全体部会	寒河江 JC ルーム
7月 6日	ブロック大会	鶴岡市

出向報告

本年度、山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会に委員として出向させていただきました。

委員会の活動が少なくあまり運営に携われなかったことは残念ですが、県内で活躍するメンバーと出会う貴重な機会になりました。この出会いを大切に、今後のJC活動へ繋げていきたいと思っております。機会を賜りました皆様に感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
1月26日	第1回委員会	山形市 山形テルサ
3月14日	全体部会	寒河江市 寒河江JCルーム
7月6日	大会本番	鶴岡市 荘銀タクト鶴岡

事務局

事務局補佐 丸山 昂

出向報告

事務局補佐として学んだことは大きく3つございます。1つは山形ブロックの役員会議の空気を直に触れることができたことです。議案書に対して真摯に協議していき厳しさの中にその議案に対して皆なでどうにか形にしていくOne teamな役員会議を見させていただけたことは良い経験となりました。

2つ目は議事録作成です。あまり役員会議に参加できなかったことが悔やまれますが、その間に議事録作成のお仕事をいただいております。初めての議事録に自分ではできるのかと長い時間をかけて葛藤しておりました。なんとか出来上がったときに議事録の大切さや議事録を通して役員会の真剣さや質疑のポイントなど作成しながら多くを学ばせていただきました。

3つ目は役員会議を開く為の準備の大切さです。事務局補佐を通して裏方がいてこそスムーズな進行や良好な役員会議が開かれるのだと感じました。マイクまわしだけでもその方がいてこそ会議がまわることを知りどんな仕事でも喜びがあることを感じました。

以上の3点を学びましてこれから様々な理事会などの会議の場面で裏方の経験を長井で活用していきたいです。

出向先活動開催日	内容	場所
2018年11月23日	第2回会員会議所候補者会議	出羽庄内国際村大ホール
2019年01月16日	2019年度 第1回役員会議	米沢商工会議所産業支援センター
2019年02月13日	2019年度 ブロック会長公式訪問	高島町総合交流プラザ
2019年02月21日	2019年度 第2回会員会議所会議	はぎ園 苑樹
2019年11月13日	2019年度 第9回役員会議	一般社団法人南陽青年会議所会館

2019年度 貸借対照表(案)

2019年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	466,317	623,803	-157,486
未収金	36,000	36,000	0
未収会費	288,000	288,000	0
流動資産合計	790,317	947,803	-157,486
2.固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	865,346	865,260	86
特別積立金	87,451	87,443	8
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	1,452,800	1,452,706	94
固定資産合計	1,452,800	1,452,706	94
資産合計	2,243,117	2,400,509	-157,392
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	2,243,117	2,400,509	-157,392
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,243,117	2,400,509	-157,392
負債及び正味財産合計	2,243,117	2,400,509	-157,392

2019年度 貸借対照表内訳表(案)

2019年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	466,317	0	0		466,317
未収金	0	0	36,000		36,000
未収会費	196,200	0	91,800		288,000
流動資産合計	662,517	0	127,800		790,317
2.固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	865,346	0	0		865,346
特別積立金	87,451	0	0		87,451
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	1,452,800	0	0		1,452,800
固定資産合計	1,452,800	0	0		1,452,800
資産合計	2,115,317	0	127,800		2,243,117
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2.固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2.一般正味財産	2,115,317	0	127,800		2,243,117
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	2,115,317	0	127,800		2,243,117
負債及び正味財産合計	2,115,317	0	127,800		2,243,117

公益社団法人長井青年会議所
2019年度正味財産増減計算書 決算(案)
2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	10,000	30,000	△ 20,000	
受取入会金	10,000	30,000	△ 20,000	¥10,000×1名(新規会員数)
受取会費	2,195,000	2,202,500	△ 7,500	
正会員会費	2,115,000	2,062,500	52,500	¥90,000×23名(年初会員数)+¥45,000×1名(月割による)
特別会員会費	40,000	100,000	△ 60,000	¥20,000×2名(卒業者より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長・長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	627,470	78,000	549,470	
登録料収益	627,470	78,000	549,470	JC杯中学野球大会登録料¥25,000・¥5,000×5校、人財育成事業登録料535,970円、SMILES by SPORTS例会登録料10,000円、地域活性化事業登録料275,000円、地青少年育成事業29,000円
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	560,000	745,532	△ 185,532	
地方公共団体補助金	0	690,000	△ 690,000	
民間補助金	540,000	0	540,000	地域活性化事業540,000円
地方公共団体助成金	20,000	55,532	△ 35,532	フラワーボランティア謝礼金: ¥20,000
民間助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	209,627	1,200,243	△ 990,616	
受取寄付金	209,627	1,200,243	△ 990,616	JCカード還元金¥31,627、地域活性化事業158,000円、その他20,000円
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	3,099	3,100	△ 1	
受取利息収益	99	100	△ 1	
その他の雑収益	3,000	3,000	0	
経常収益計	3,605,196	4,259,375	△ 654,179	
(2) 経常費用				
事業費	2,963,798	3,464,987	△ 501,189	
地域開発事業	1,799,696	2,234,377	△ 434,681	
青少年育成事業	423,279	607,165	△ 183,886	
公益事業共通	228,460	205,397	23,063	
内部例会及び会員交流系事業	315,766	226,341	89,425	
広報系事業	95,472	87,499	7,973	
その他組織運営に関する事業	101,125	104,208	△ 3,083	
収益事業等共通	0	0	0	
科目	当年度	前年度	増減	備考
管理費	798,790	755,212	43,578	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	20,000	5,000	15,000	結婚祝金 ¥10,000×2名
会議費	5,400	5,400	0	1月総会会場使用料: ¥5,400
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	16,263	14,234	2,029	切手・はがき: ¥16,263
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	53,835	65,982	△ 12,147	スローガン看板: ¥19,440、会員ネームプレート・バッジ: ¥3,200×3名(牛澤・加藤・四釜)、その他: ¥24,795
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	148,345	148,318	27	手帳: ¥117,180、総会資料: ¥11,985、その他: ¥19,180
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	22,500	20,000	2,500	JCルームの賃借料 ¥270,000: 旧¥20,000×新3ヶ月+¥30,000×7ヶ月
保険料	8,750	8,400	350	ボランティア活動保険: ¥350×25名
委託費	137,575	135,108	2,467	長井商工会議所事務員 ¥440,000: 12ヶ月 ホームページ作成・更新、ホスティング料等 ¥111,500 合計: ¥551,500
租税公課	1,200	0	1,200	厩本代: ¥1,200
支払負担金	273,150	259,527	13,623	JC!負担金 ¥40580: ¥1,690×23名(年初会員数)+¥1,690×1名 日本JC負担金 ¥147,500: ¥30,000(基本額)+¥5,000×23名(年初会員数)+¥2,500 地区協議会負担金 ¥39,500: ¥5,000(基本金)+¥1,500×23名(年初会員数)+¥10,000×2名(ゼミナール委員出向者数) ブロック協議会負担金 ¥140,000: ¥10,000(基本金)+¥5,000×23名(年初会員数)+¥5,000×3名(アカデミー委員出向者数) 国際協力資金 ¥43,800: ¥1,825×23名(年初会員数)+¥1,825×1名 日本JC出向者負担金 ¥0: ¥20,000(基本金)×0名 We Believe購読料 ¥70,250: ¥3,000×23名(年初会員数)+¥12,500×1名 JC支払負担金総計: ¥501,610
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	87,392	77,851	9,541	関係団体年会費、電報他: ¥87,392
雑費	24,380	15,392	8,988	予備費(振込手数料他)
経常費用計	3,762,588	4,220,199	△ 457,611	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 157,392	39,176	△ 196,568	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 157,392	39,176	△ 196,568	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 157,392	39,176	△ 196,568	
一般正味財産期首残高	2,400,509	2,361,333	39,176	
一般正味財産期末残高	2,243,117	2,400,509	△ 157,392	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,243,117	2,400,509	△ 157,392	

公益社団法人 長井青年会議所
2019年度財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当無し。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当無し。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当無し。

(4) 引当金の計上基準

該当無し。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当無し。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	865,260	86	0	865,346
特別積立金	87,443	8	0	87,451
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	1,452,706	94	0	1,452,800
合 計	1,452,706	94	0	1,452,800

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	865,260	0	865,346	0
特別積立金	87,443	0	87,451	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	1,452,706	0	1,452,800	0
合 計	1,452,706	0	1,452,800	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	36,000	0	36,000
未収会費	288,000	0	288,000
合 計	324,000	0	324,000

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
地方公共団体助成金 フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000	0	
民間補助金			540,000	540,000		
合 計		0	560,000	560,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

16. 重要な後発事象

該当無し。

17. その他

該当無し。

公益社団法人 長井青年会議所

2019年度 附属明細書 (案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

2019年度 財産目録(案)

2019年12月31日現在

			(単位:円)
貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	0
預金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707	運転資金として	466,230
	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583	運転資金として	87
	普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960	運転資金として	0
	普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318	運転資金として	0
未収金	菅原純一君2013年度ブロック大会登録料(¥3,000) 菅原純一君2014年度ブロック大会登録料(¥3,000) 菅原純一君2014年度フォーラム登録料(¥7,000) 菅原純一君2015年度ブロック大会登録料(¥3,000) 菅原純一君2015年度全国大会登録料(¥10,000) 菅原純一君2015年度50周年特別協賛金(¥10,000)	2013年度県大会登録料未収金 2014年度県大会登録料未収金 2014年度地区大会登録料未収金 2015年度県大会登録料未収金 2015年度全国大会登録料未収金 2015年度周年特別協賛金未収金	36,000
未収会費	菅原純一君2013年度分(¥108,000) 菅原純一君2014年度分(¥90,000) 菅原純一君2015年度分(¥90,000)	2013年度分会費未収金 2014年度分会費未収金 2015年度分会費未収金	288,000
流動資産合計			790,317
(固定資産)			
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。
	特別積立金	定期預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道(株)の有価証券で、 地域振興を目的とする。
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。
固定資産合計			1,452,800
資産合計			2,243,117
(流動負債)			
流動負債合計			0
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			2,243,117

公益社団法人長井青年会議所
2019年度委員会別事業費収支計算書 予算

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
まちづくり委員会				
地域活性化事業	公1	916,773	725,500	191,273
フラワーボランティア事業	公1	20,597	20,000	597
	小計	937,370	745,500	191,870

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
ひとつくり委員会				
青少年育成交流事業	公2	173,670	29,000	144,670
JC杯中学野球大会	公2	38,159	25,000	13,159
大人の逃走中	他3	29,676	0	29,676
	小計	241,505	54,000	187,505

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
会員拡大特別会議				
会員拡大運動	他3	29,050	0	29,050
会員交流事業	他1	12,406	10,000	2,406
	小計	41,456	10,000	31,456

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
人財育成委員会				
人財育成事業	公1	650,876	535,970	114,906
次年度理事長候補者所信(案)発表例会	他1	15,689	0	15,689
行動力向上セミナー	他1	46,850	0	46,850
	小計	713,415	535,970	177,445

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	23,397	0	23,397
置賜4JC合同例会	他1	50,000	0	50,000
卒業式	他1	66,770	0	66,770
ホームページ運営		0	0	0
	小計	140,167	0	140,167

合計		2,073,913	1,345,470	728,443
----	--	-----------	-----------	---------

※事業区分について、公1＝地域開発事業、公2＝青少年育成事業、他1＝内部例会及び会員交流系事業、他2＝広報系事業、他3＝その他組織運営に関する事業

監 査 報 告 書

公益社団法人 長井青年会議所
理事長 小関 幸一 殿

2019年1月1日から2019年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係種類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の終始状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

2020年 / 月 6日

公益社団法人 長井青年会議所

監事 井上 典嗣



備 品 目 録

[2019年12月31日現在]

1、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1 額
2、ゴング（米沢 J C 寄贈）	1 式
3、J C 法被	2 6 着
4、J C 綱領版（新潟 J C 寄贈）	1 式
5、腕章	1 9 本
6、CD（国家、J C ソング他）	1 枚
7、J C ジャンパー	2 5 着
8、入会認定書	1 額
9、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1 式
10、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1 張
11、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1 台
12、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1 枚
13、プレジデンシャルリース（98年度卒業記念寄贈）	1 式
14、国旗、J C 旗（99年度卒業記念寄贈）	1 式
15、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1 台
16、P C カード	1 枚
17、I C レコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1 台
18、プレジデンシャルリース J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1 式
19、ハンマー J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1 台
20、J C 旗 J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1 式
21、J C ゴング J C I マーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1 式
22、デジタルビデオ	1 台
23、ホワイトボード	1 台
24、テント	3 張
25、プロジェクター	1 台
26、スクリーン	1 台
27、誘導棒（米沢 J C 寄贈）	6 本
28、拡声器（米沢 J C 寄贈）	1 台

引越の為廃棄

1、木制書（89年度卒業記念寄贈）	1 台
2、演台（90年度卒業記念寄贈）	1 台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1 台
4、ネームプレートキャリーバック	1 台
5、スチール書庫	3 台
6、野球ユニフォーム	1 0 着